

【講義11】

国文学研究資料館における 和古書目録の作成



大学共同利用機関法人 人間文化研究機構

国文学研究資料館

目次

1. 和古書目録書誌レコード作成例

- ▶ 国文学研究資料館日本古典籍書誌レコード作成要領に基づいた、当館の和古書目録の作成について、ご紹介します。
- ▶ 情報源となる場所について説明した後は、実際に資料の画像を見ながら書誌情報を取る演習を行います。

2. 国文学研究資料館日本古典籍書誌レコード作成要領（別紙1）

3. 参考図書（別紙2）

- ▶ 和古書目録（含む著作典拠ファイル・著者典拠ファイル）作成に利用している参考図書のリストです。

和古書目録書誌レコード作成例

●「和古書」として扱う基準

■著作の成立年

- 江戸時代まで（慶応4年以前）に成立した
- 成立年代が不明だが、慶応4年以前と考えられる
- 完結が明治改元以降だが、著作の一部が慶応4年以前に成立している

■著者・言語

- 日本人が著者であれば日本語以外でもOK
- 外国人が著者でも、日本在住で日本において日本語で出版していればOK（外国語は対象外）

■技法

- 版本（整版・木活字版等）、近代以前の印刷技術によるもの
- 写本（人の手で書写されたもの、写した時期は明治期以降でもOK）

和古書		*は該当に○		preno		ppreno		cpreno	
cid		wid		* widなし					
統一書名表記									
" よみ									
統一著者名(よみ)									
記載書名	1 表記 □							種別	
	よみ								
	2 表記 □							種別	
	よみ								
	3 表記 □							種別	
	よみ								
書名	4 表記 □							種別	
	よみ								
	5 表記 □							種別	
記載著者	1 著者名					役別		伝	郎編等
	2 著者名					役別		伝	郎編等
	3 著者名	他等				役別		伝	郎編等
* 書写・出版事項	1書肆(地名)or 書写者(地名) 複数は、で繰 り返し								
	刊年or書写年 郎編等								
	2書肆(地名)or 書写者(地名) 複数は、で繰 り返し								
* 刊 / 写 / 混	冊数					冊	残欠	裏書巻号表示	
	冊数					冊	残欠		
	形態(丁数、寸法、紙型)								
和古書メタデータ									
原資料請求記号									
登録番号									
備考 注記	* 書誌構造	単独(子書誌) / 裏書 / 合綴(取り合せ本) / 合刻・合写							
	()								

[illegible]

●情報源（一般的な袋綴冊子の場合）

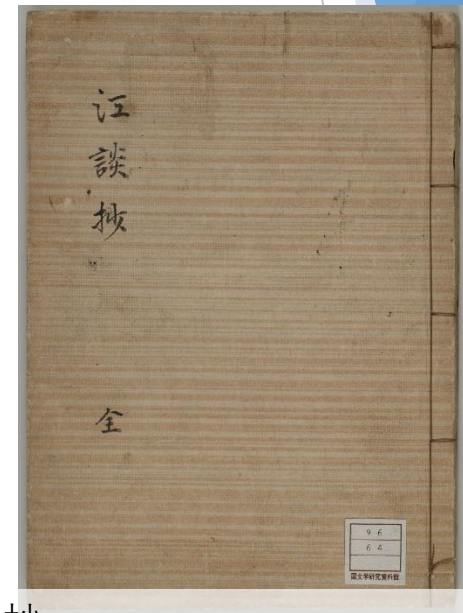
■表紙

- 書名が記載されていることが多い。
- 書名を直接書いたり印刷したりする場合と、書名を書いたり印刷したりした紙（題簽）を貼り付けた場合がある。
- 題簽ははがれている場合もある。



本朝怪談故事（第一冊・第二冊表紙）

<https://doi.org/10.20730/200021175>

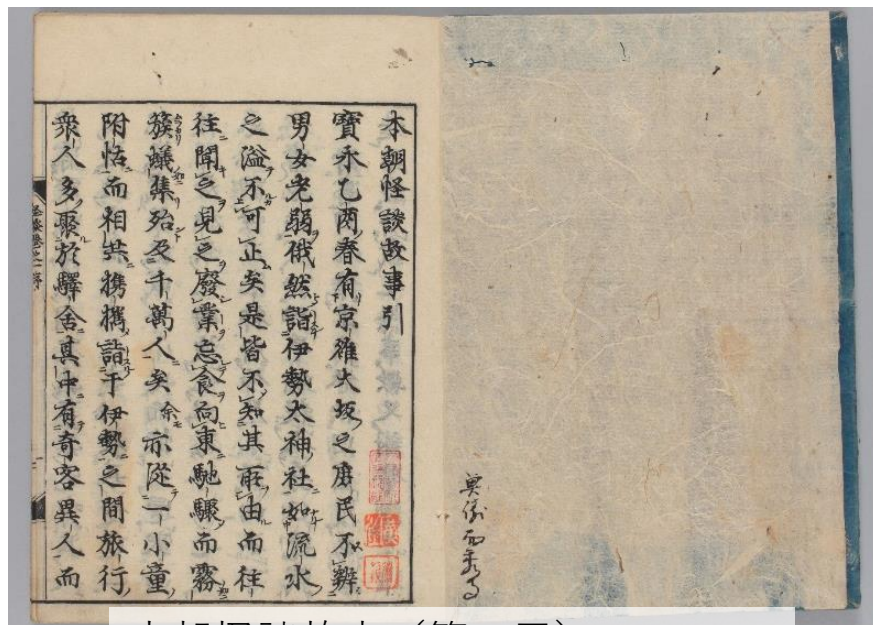


江談抄

<https://doi.org/10.20730/200018254>

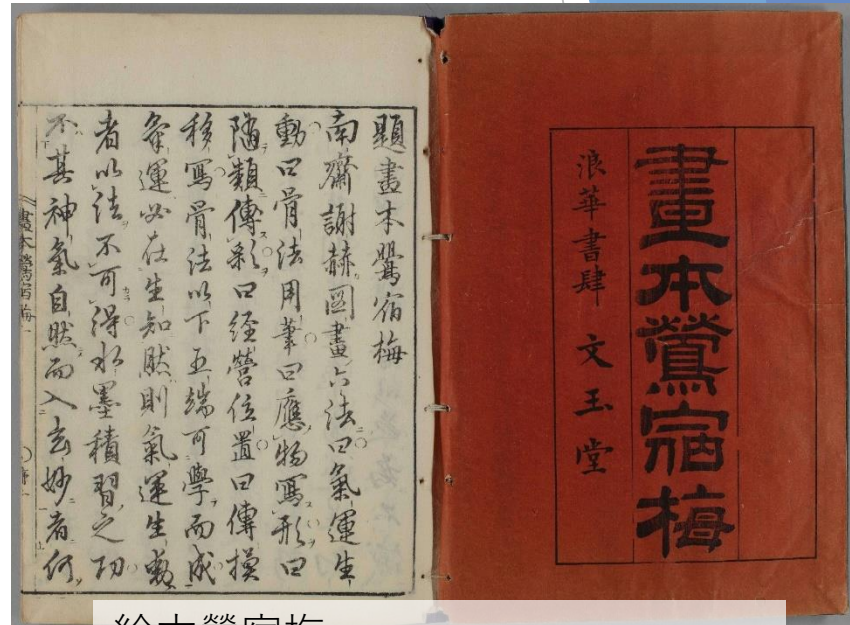
■見返し

- 何も書かれていないものや、書名などの情報が印刷されているものがある。
- 過去の所有者の書き込みがある場合もある。



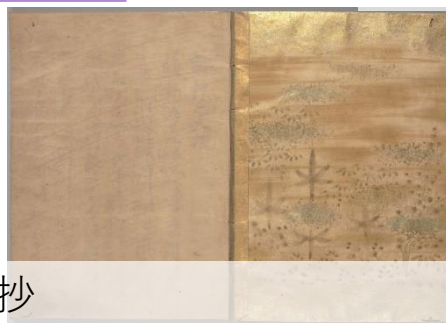
本朝怪談故事（第一冊）

<https://doi.org/10.20730/200021175>



絵本鶯宿梅

<https://doi.org/10.20730/200015819>



江談抄

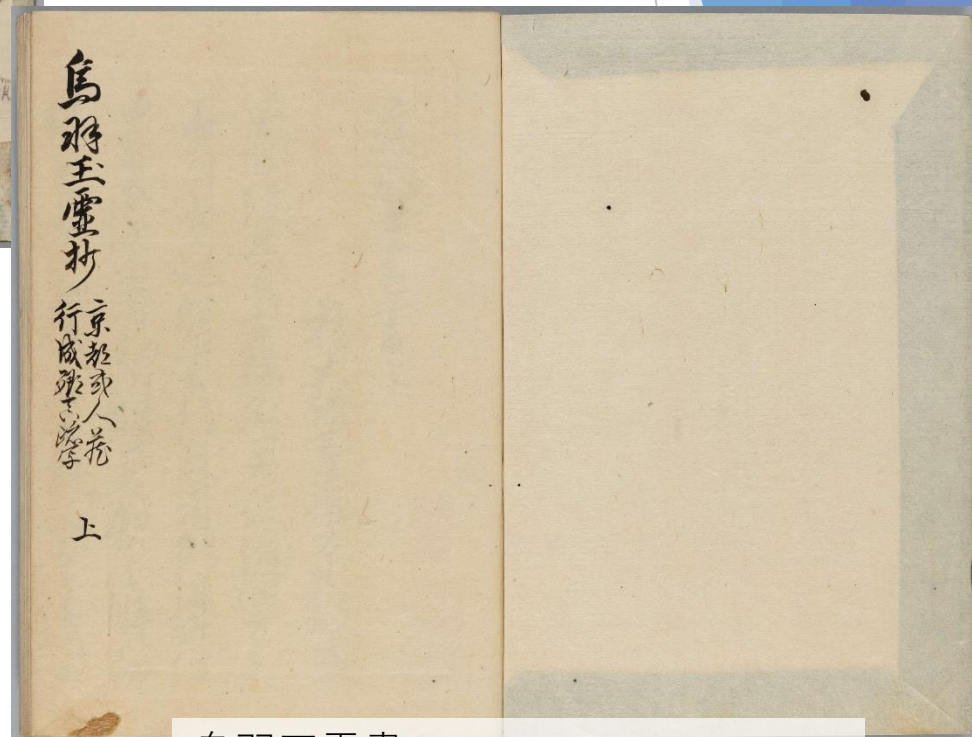
<https://doi.org/10.20730/200018254>

扉



伊勢物語（第一冊）

<https://doi.org/10.20730/200024924>

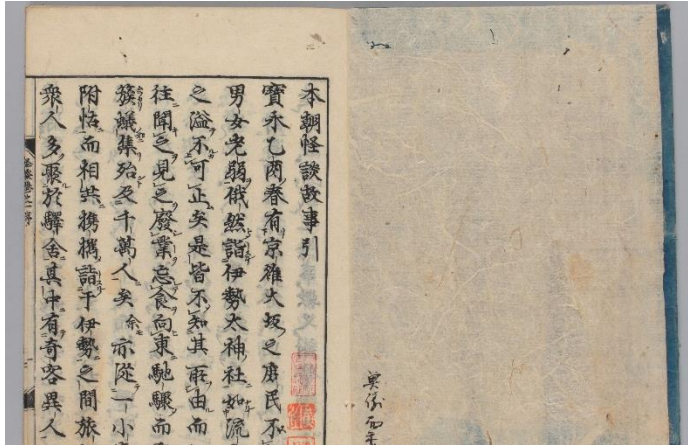


烏羽玉靈書

<https://doi.org/10.20730/200023339>

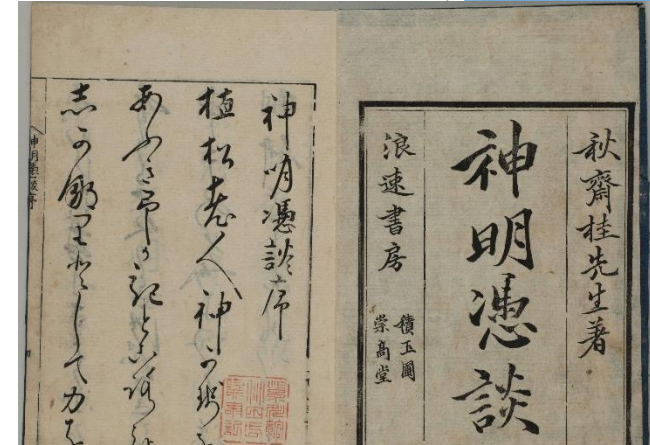
■序

- 本文の前にある文章。「序」と書いていないものもあるので注意



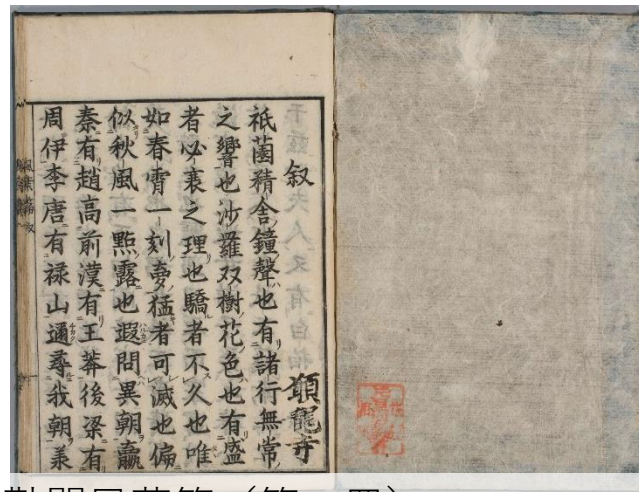
本朝怪談故事（第一冊）

<https://doi.org/10.20730/200021175>



神明憑談

<https://doi.org/10.20730/200018234>

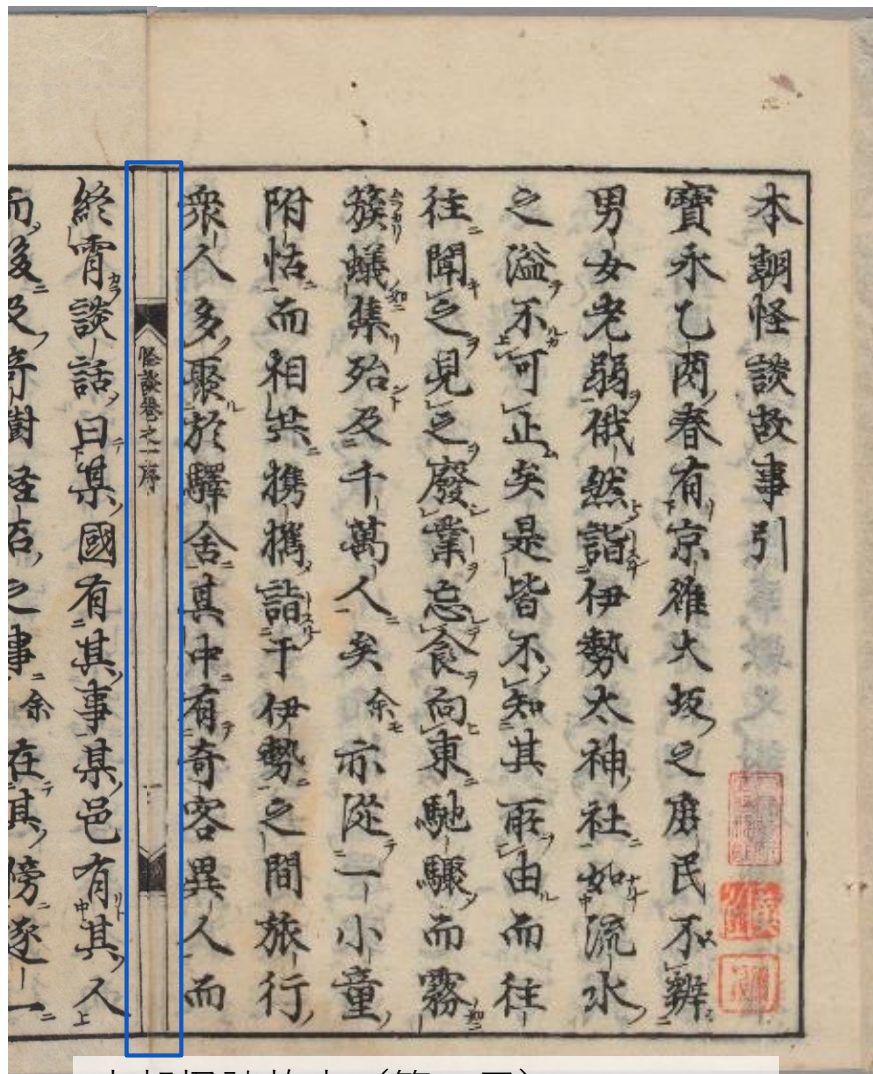


勸聞風葉篇（第一冊）

<https://doi.org/10.20730/200015528>

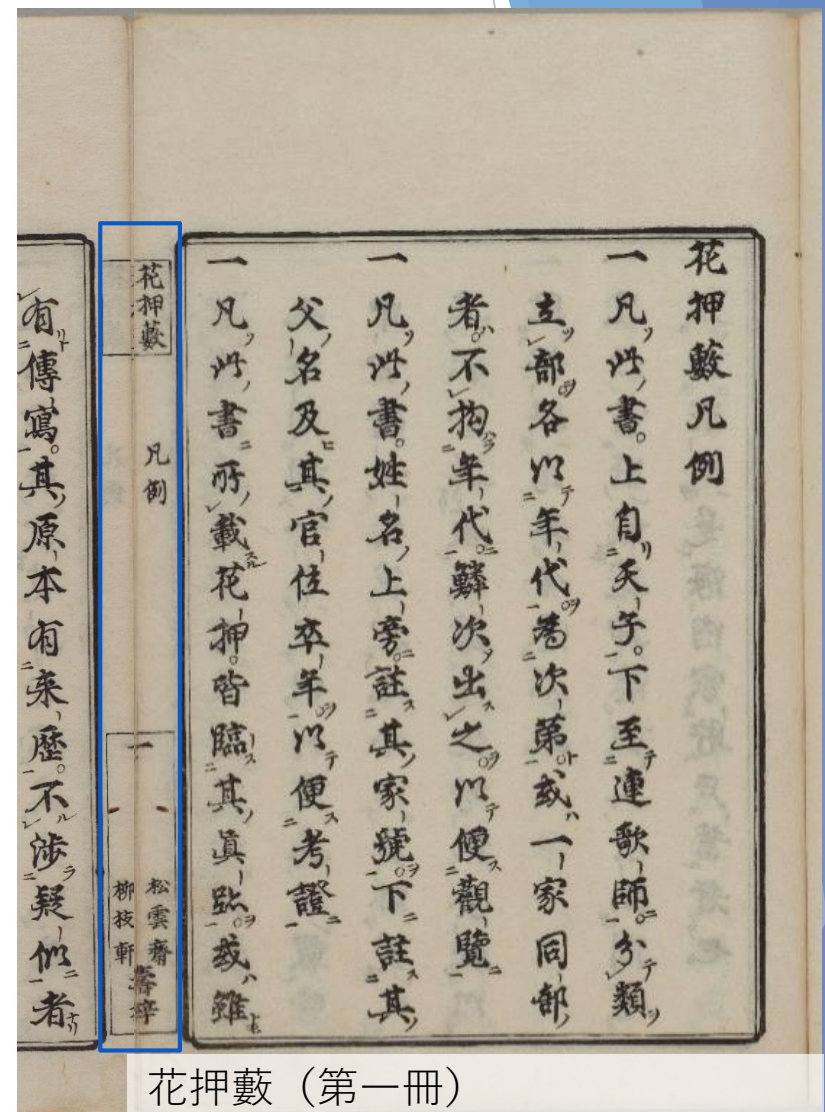
■版心・柱

- 版本の紙一丁の中心部分



本朝怪談故事（第一冊）

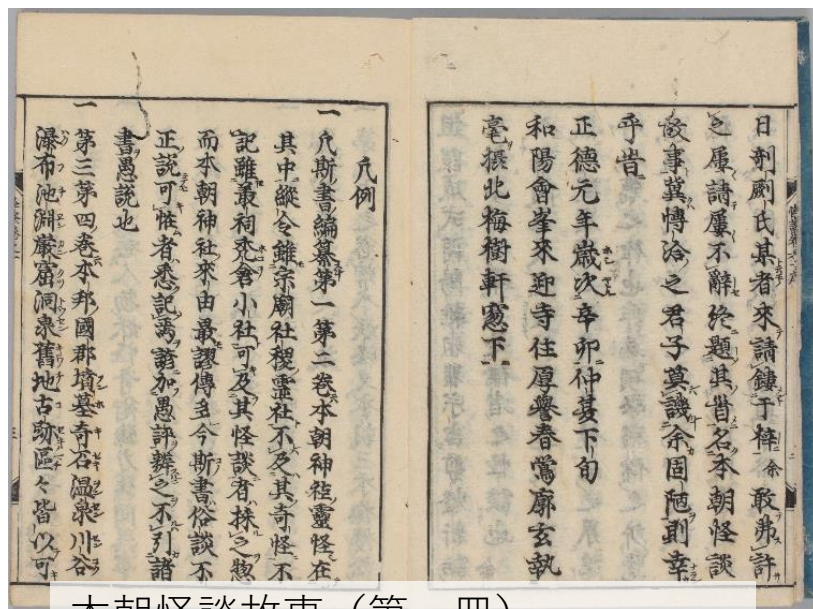
<https://doi.org/10.20730/200021175>



花押藪（第一冊）

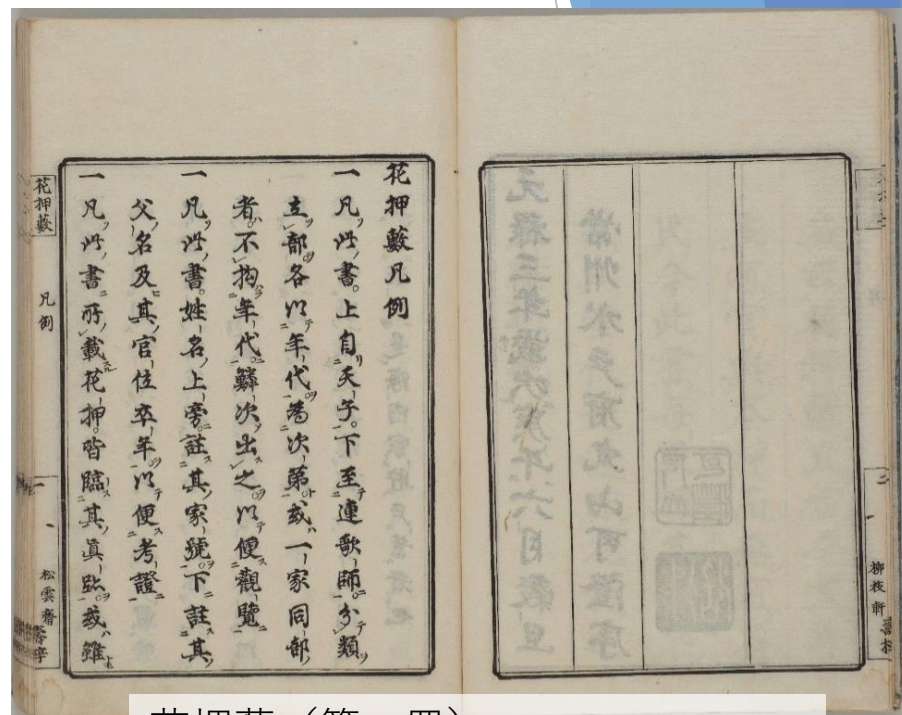
<https://doi.org/10.20730/200017282>

■凡例



本朝怪談故事（第一冊）

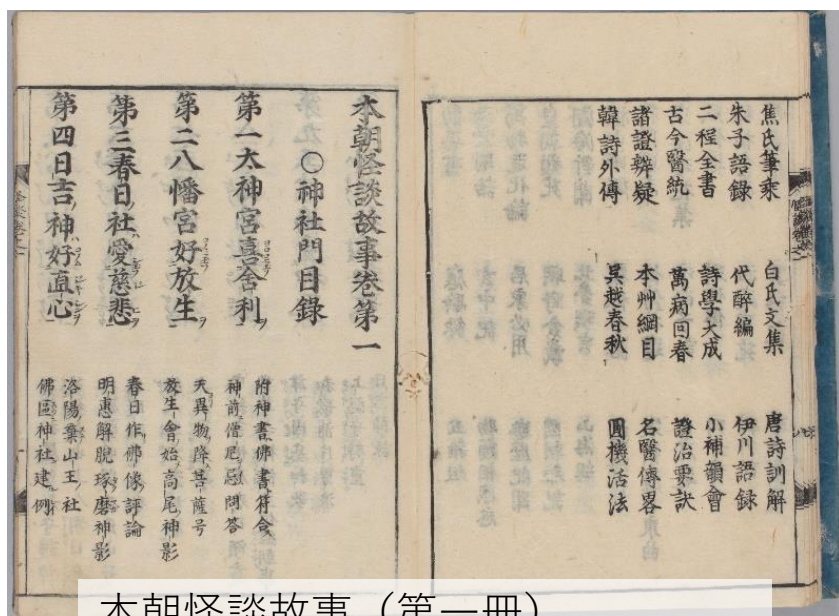
<https://doi.org/10.20730/200021175>



花押藪（第一冊）

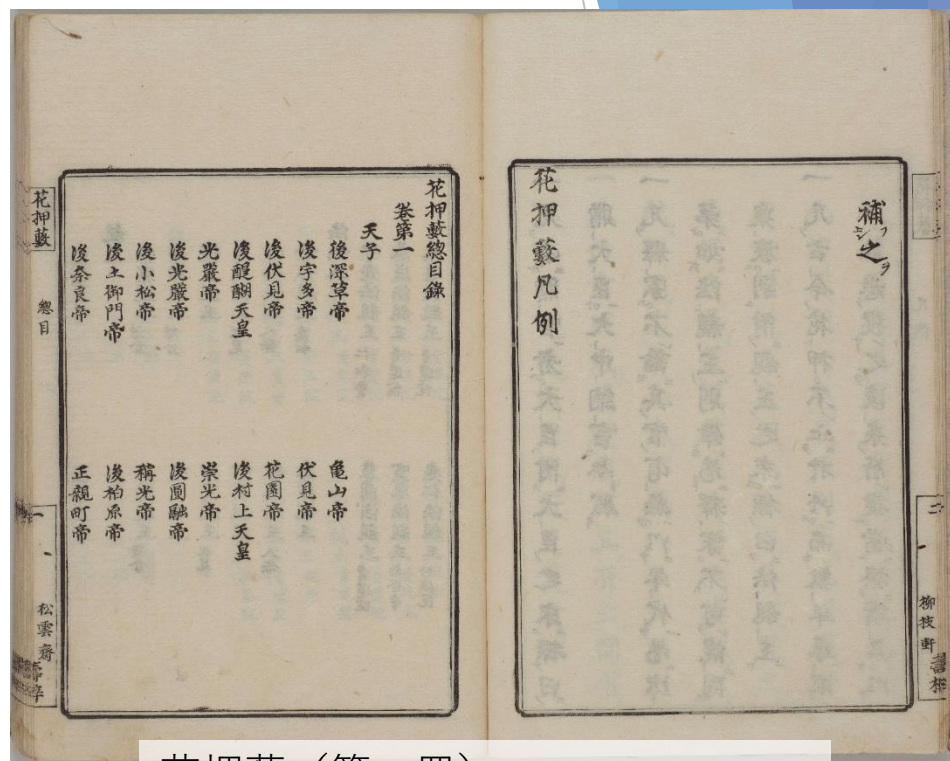
<https://doi.org/10.20730/200017282>

- 今の本の「目次」に当たる部分



本朝怪談故事（第一冊）

<https://doi.org/10.20730/200021175>

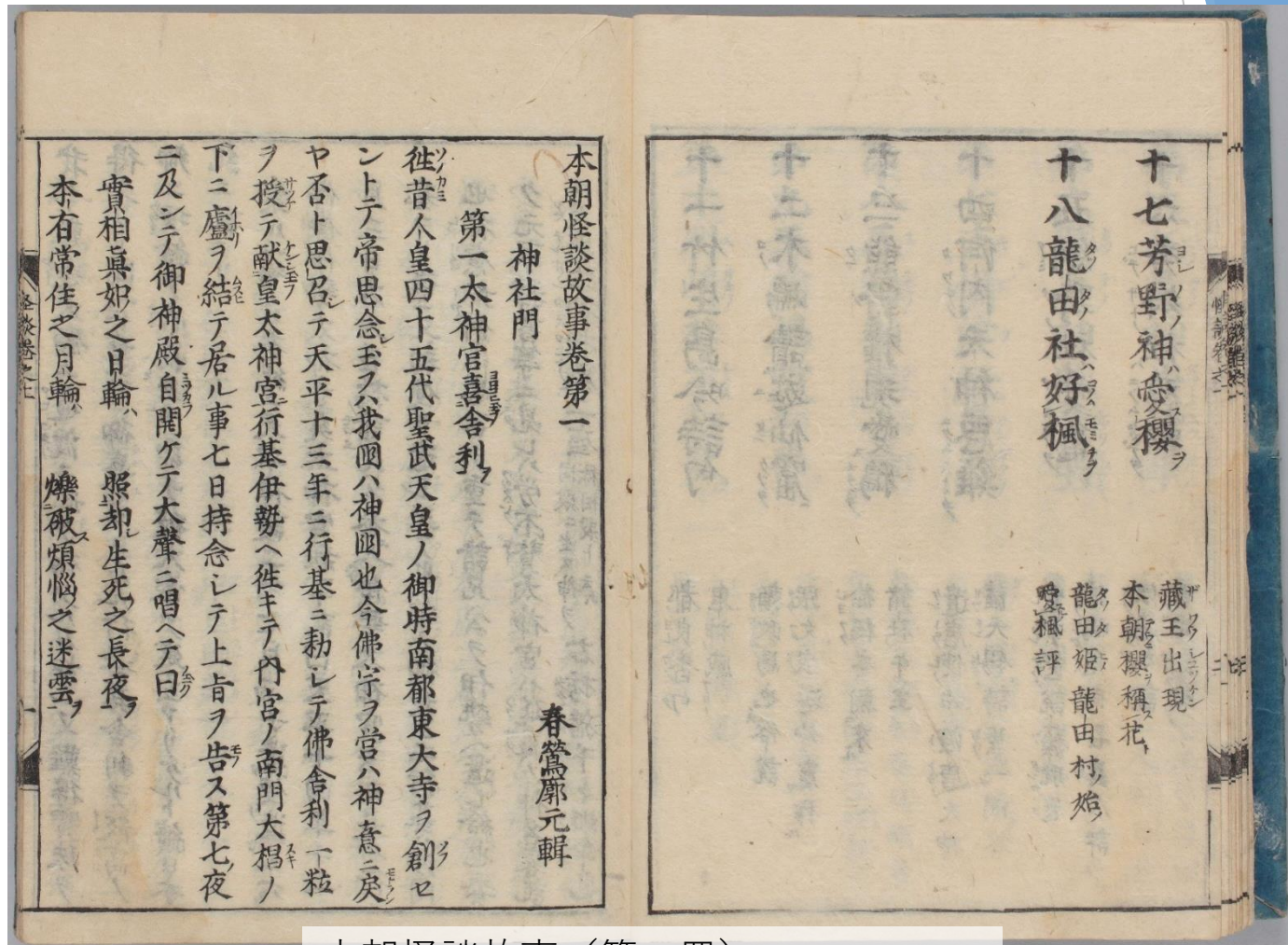


花押藪（第一冊）

<https://doi.org/10.20730/200017282>

■ 卷首・巻頭

- ・ 情報源としては特に重視される。
- ・ 複数箇所に記載された情報があった場合、最優先となる。

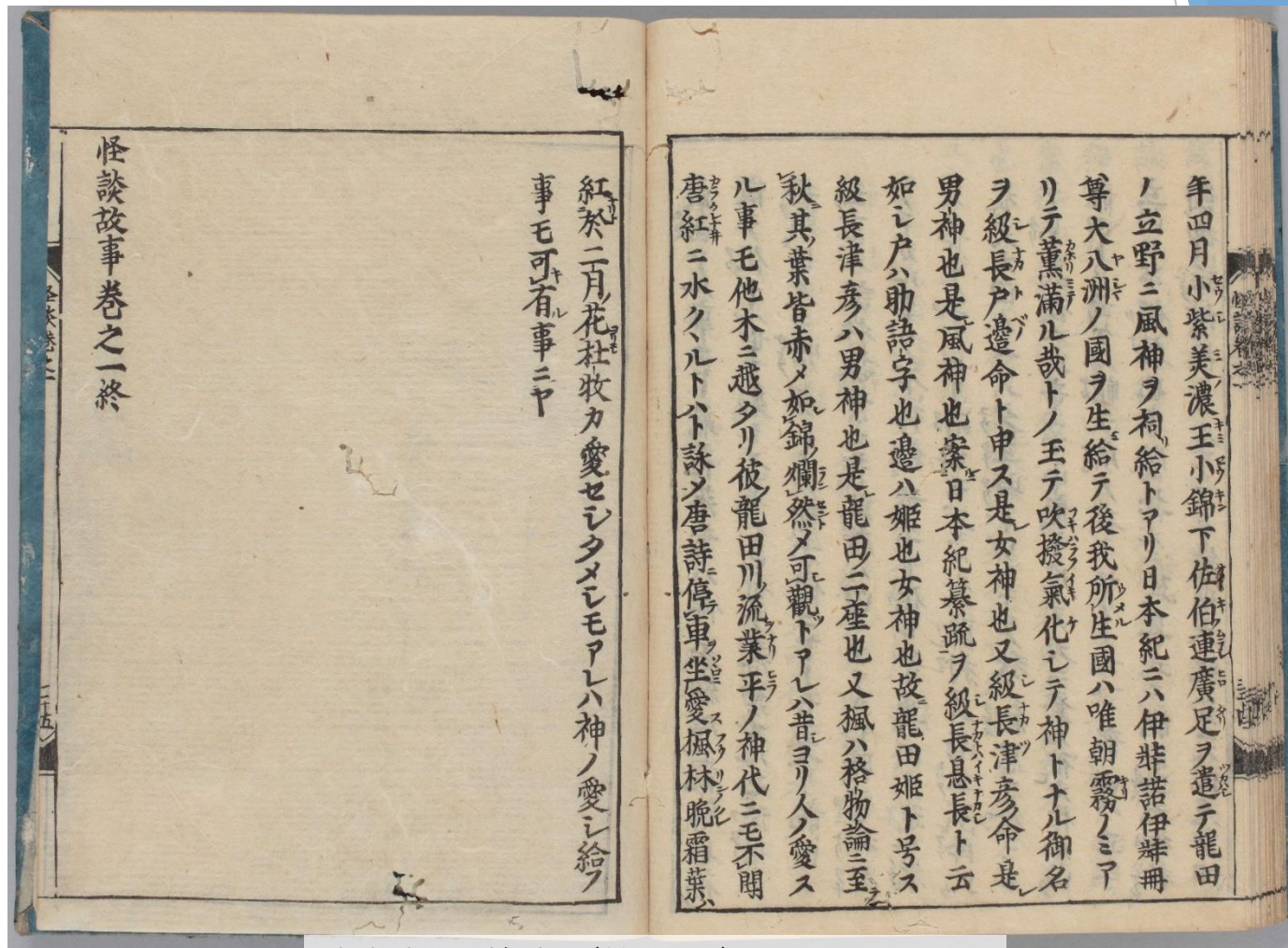


本朝怪談故事（第一冊）

<https://doi.org/10.20730/200021175>

■卷末

- 本文の最後。



本朝怪談故事（第一冊）

<https://doi.org/10.20730/200021175>

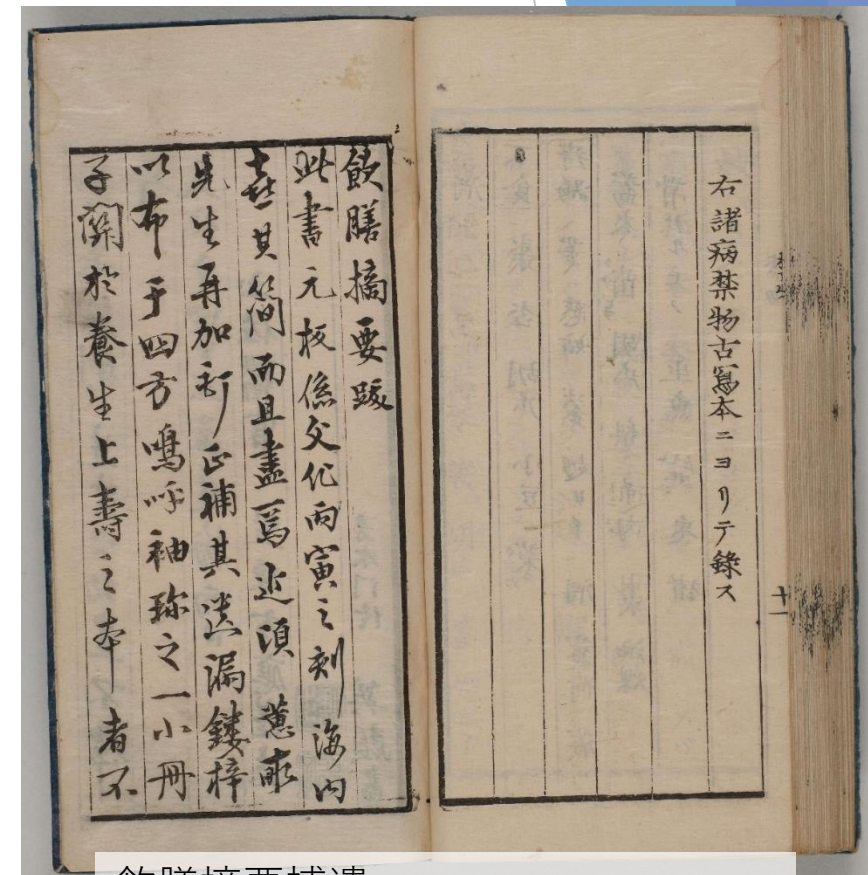
■ 跋

- 本文の後にある文章。「跋」と書いていないものもあるので注意



怡顔齋介品（第二冊）

<https://doi.org/10.20730/200018084>

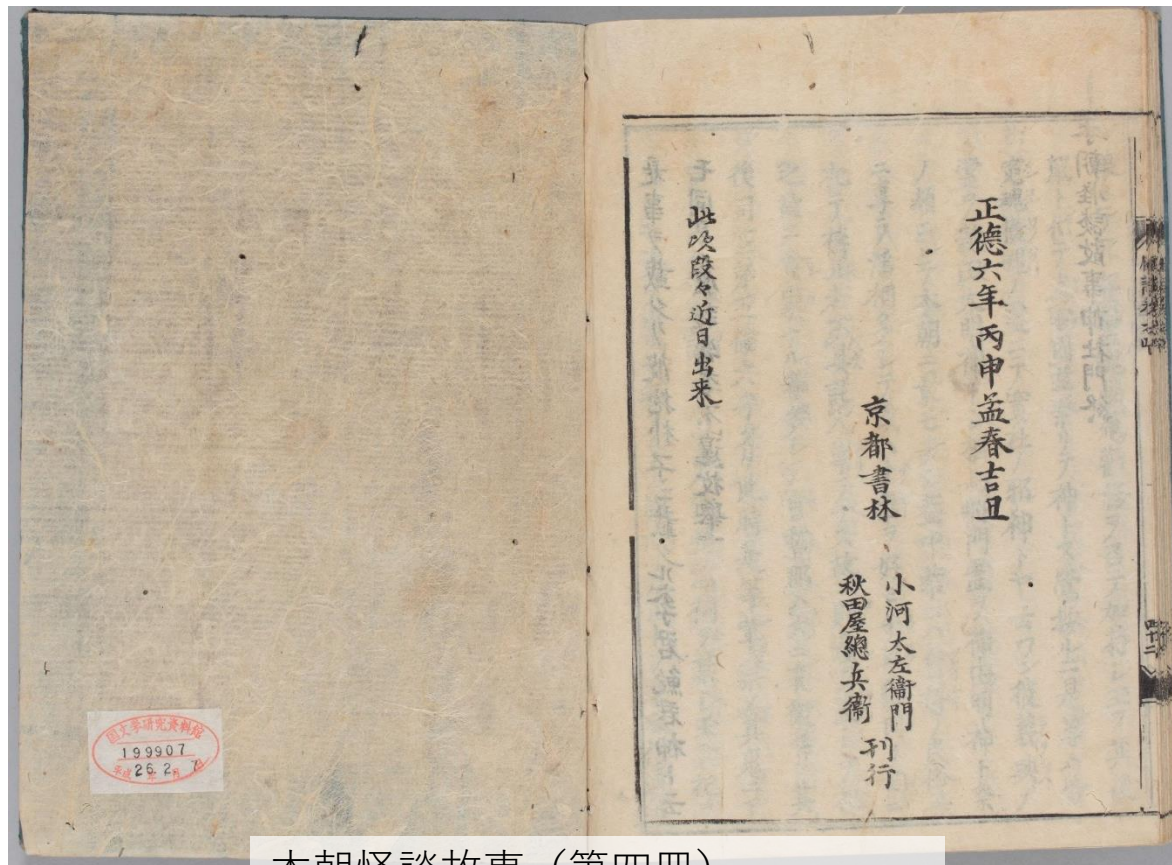


飲膳摘要補遺

<https://doi.org/10.20730/200018106>

■刊記

- 多冊ものでは全ての冊にはない場合があるので注意



本朝怪談故事（第四冊）

<https://doi.org/10.20730/200021175>



本朝怪談故事（第一冊）

<https://doi.org/10.20730/200021175>

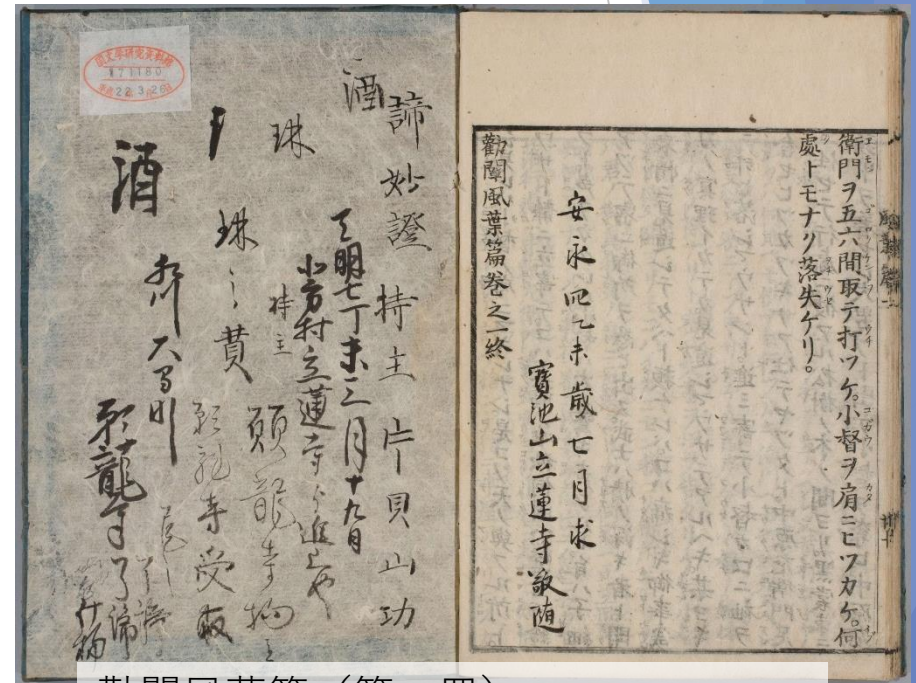
■裏見返し

- 出版者の広告や以前の所有者による書き込みがされている場合がある。



猫の目かづら（第三冊）

<https://doi.org/10.20730/200016989>



勸聞風葉篇（第一冊）

<https://doi.org/10.20730/200015528>

●情報源（冊子以外の形態の場合）

■表紙（卷子）

- 卷子では一番外側の全体を包んでいる部分。外側には裂などが貼られ、内側には金泥等が施されている場合も多い
- 表紙に題簽等が付けられていた場合には外題として取る



伊勢物語奥旨秘訣

<https://doi.org/10.20730/200024602>

■ 卷首・巻頭（卷子）

- 文字通りの**巻**物の冒**頭**部分



伊勢物語奥旨秘訣

<https://doi.org/10.20730/200024602>

■表紙（折本・畳物）

- 折本・畳物はいずれも広げると一枚の紙になる、折り畳まれたもの。折本は長い紙が長辺方向に、畳物は縦横に折り畳まれている。
- いずれも折り畳んだときに一番外側に来る部分が表紙で、大抵そこだけ本紙とは別の紙が貼り付けられている。



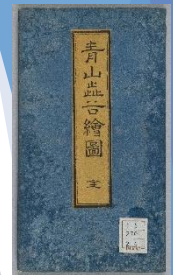
懷中便要

<https://doi.org/10.20730/200018194>



東都青山繪圖

<https://doi.org/10.20730/200023098>



● 目錄演習



和古書		* は該当に○				preno		ppreno		cpreno	
cid		wid	* widなし								
統一書名 表 記											
" よみ											
統一著者名(よみ)											
記 載 書 名	1 表 記 □									種 別	
	よ み										
	2 表 記 □									種 別	
	よ み										
	3 表 記 □									種 別	
	よ み										
	4 表 記 □									種 別	
	よ み										
	5 表 記 □									種 別	
	よ み										
6 表 記 □									種 別		
よ み											
記 載 著 者	1 著者名					役割		伝		部編等	
	2 著者名					役割		伝		部編等	
	3 著者名			他等		役割		伝		部編等	
* 書 写 ・ 出 版 事 項	1書肆〈地名〉or 書写者〈地名〉 複数は， で繰 り返し										
	刊年or書写年										
	部編等										
	2書肆〈地名〉or 書写者〈地名〉 複数は， で繰 り返し										
	刊年or書写年										
	部編等										
* 刊 / 写 / 混		卷数						叢書巻号表示			
冊 数						冊	残欠				
形態(丁数, 寸法, 紙型)											
和古書メディア表 原資料請求記号									—		
登録番号											
備 考	* 書誌構造	単独(子書誌) / 叢書 / 合綴(取り合せ本) / 合刻・合写									
注 記	〈 〉										

[illegible]

■ 目録演習の手順

- 順番に情報源の画像を示して行くので、そこに含まれる書誌情報を見つけてデータシートに書き込んでいって下さい。
- 各情報源では、それ以前に取った内容と完全に重複する場合は1データにまとめます。
例：第一巻と第二巻で表紙に書かれたタイトルが同じ。
※ 既に取りった項目についての追加・訂正・補足は行う。
※ **このため新たに書誌項目を取らない場合もある。**
- データシートに書き込む時の記述ルールは、できるだけ国文学研究資料館日本古典籍書誌レコード作成要領（別紙1）に従って下さい。
※ 情報源から書誌情報を見つけることが第一の目的です。結果的に当館ルールと異なる記述になっても気にしないで下さい。



画像を使っでの演習なので、情報源になりそうなところにはどんどん丸をつけていきましょう。

注意

この演習の回答例は、題材とした資料以外の書誌も参考にして、注記など必須以外の項目も出来るだけたくさん取る形で講習会のために再構成したものです。

そのため、実際にデータベースで公開しているものとは異なっている部分があります。

後でデータベースを確認する際はご留意下さい。

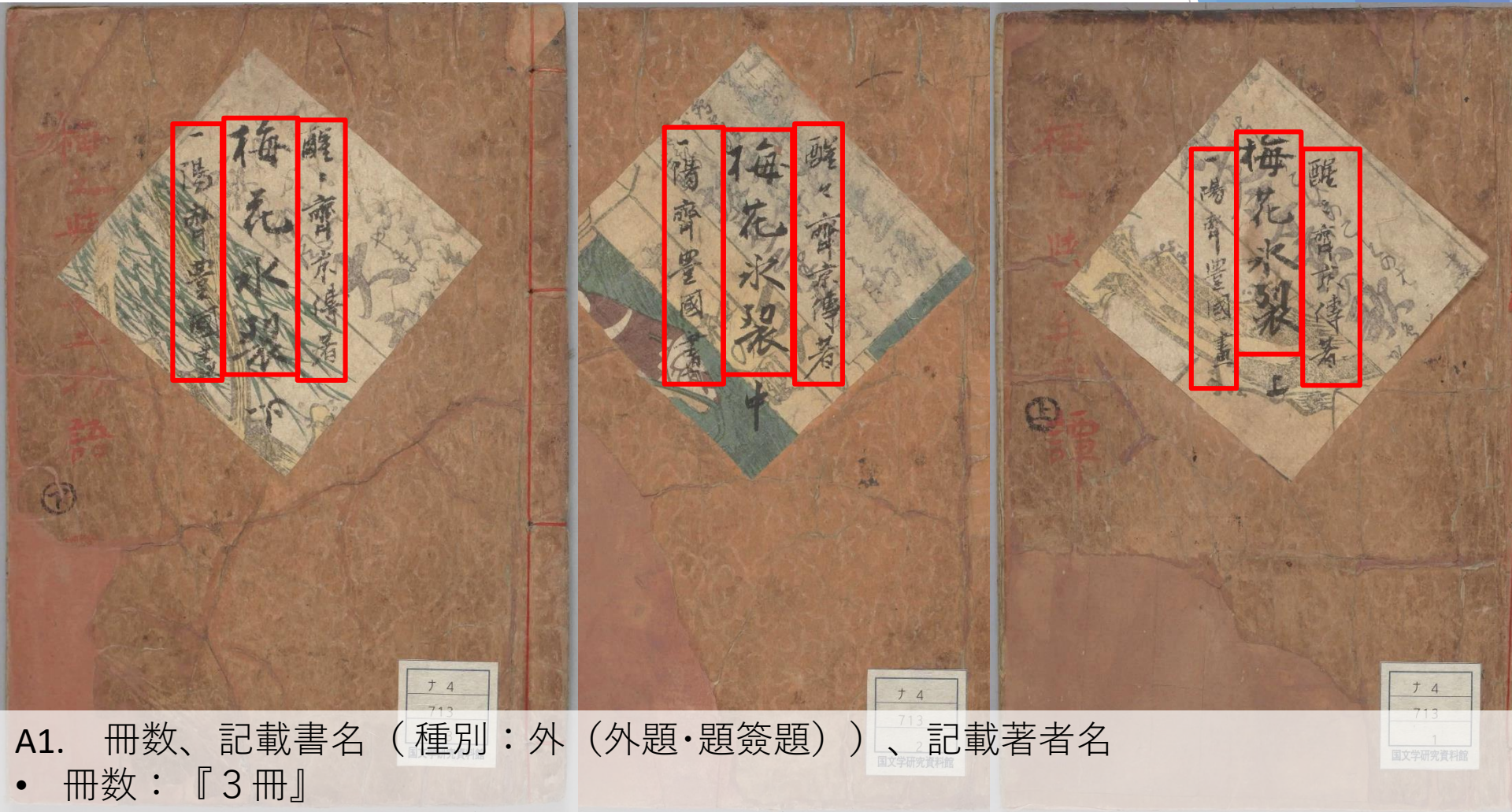


◆ 表紙（各冊）



Q1.ここから取ることができる書誌情報の項目とその内容は？

◆ 表紙（各冊）



- A1. 冊数、記載書名（種別：外（外題・題簽題））、記載著者名
- 冊数：『3冊』
 - 記載書名：『梅花氷裂（ばいかひょうれつ）』，外』（※以降記載書名は『表記（よみ）』，種別』の形で記載する）
 - 記載著者名：『醒々齋／京傳 著』，『一陽齋／豊國 画』（※以降記載著者名は『姓／名役割』の形で記載する）

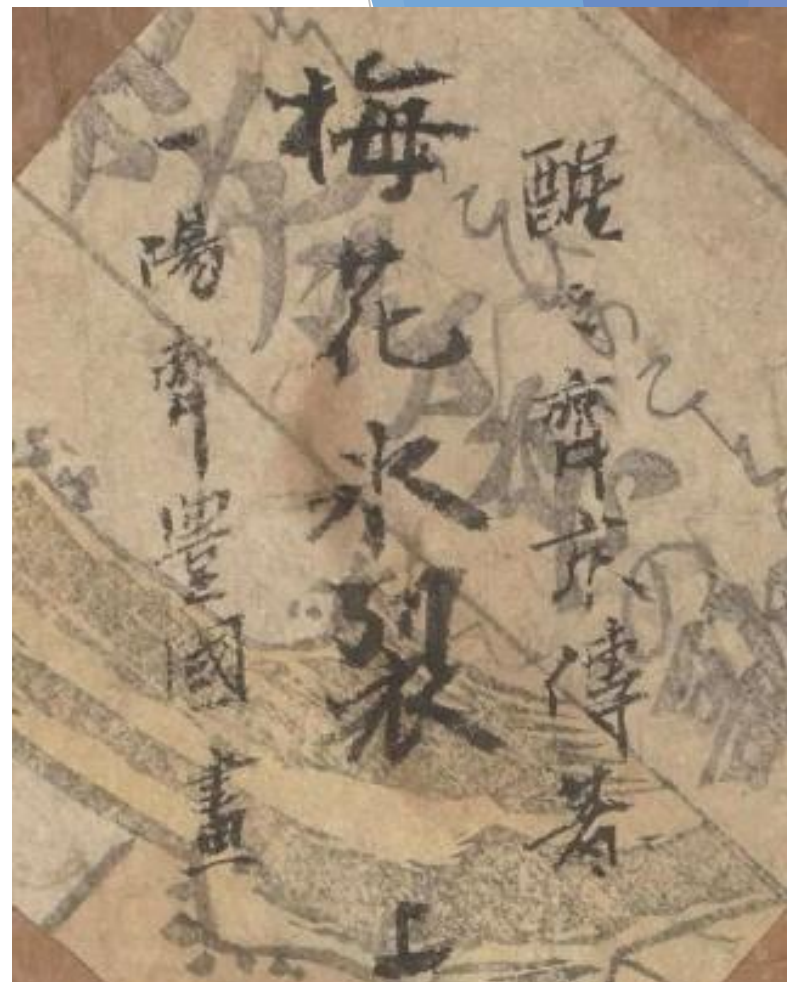
◆ 表紙（各冊）



解説1

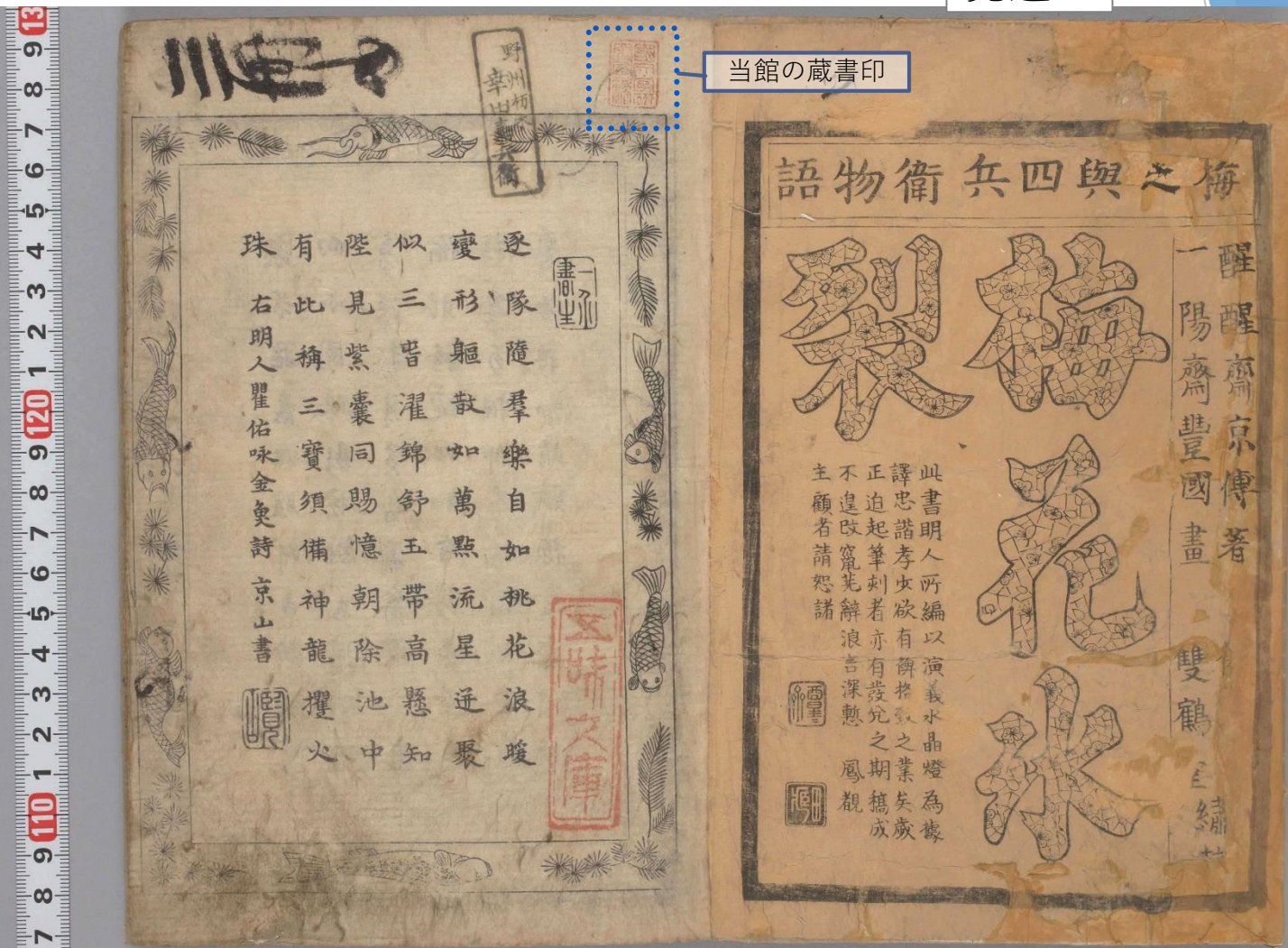
- 記載書名に部編・巻号は取らない
→ 「上」「中」「下」は書名に含めず「梅花氷裂」のみを取る。

◆ 表紙（各冊）



解説1補足（画像では判断しづらい内容など）

- 表紙の下部を拡大してよく見ると似た色の紙で補修が施されていることが分かる。
- また、一部題簽がかかるが、上冊に「梅之與四兵衛譚」の朱書と○に上の墨書、下冊に「梅之與四兵衛物語」の朱書と○に下の墨書、の打付書がそれぞれある。
- 題簽自体は何かの裏紙に手書きされたものであり、打付書より後に貼られた後補と分かる→注記に取ることができる。（題簽・補修跡は形態注記、打付書は一般注記）



Q2.ここから取ることができる書誌情報の項目とその内容は？
※左丁右上の蔵書印は当館のものなので記述対象外です。

◆ 第一冊見返し

見返し



A2.記載書名（種別：見（見返題））、刊写の別、注記（伝来注記）

- 記載書名：『梅之與四兵衛物語／梅花氷裂（うめのよしべえものがたり／ばいかひょうれつ）, **見**』

注記（出版, 伝来（蔵書印））

- 刊写の別：『刊』
- 注記：『〈伝〉（印記）「五味文庫」「野州栃木幸田嘉兵衛」。』

◆ 第一冊見返し

見返し



解説2.

- 見返し題は外題とは内容が違うので、新たなデータとして取る。
- 著者の表記は表紙と同じなのでデータの訂正はなし。
- 蔵書印はできるだけ読む。（判読不能文字は□でとる）
- 蔵書印が一文字も読めないときは色や形を記録すると良い。
- 書き込みは必要に応じて取るが、単なる冊数のメモなのでこの演習では取らない。

◆ 第一冊見返し

見返し



解説2.補足

- 「梅之與四兵衛物語」と「梅花氷裂」が分かれているので当館では「／」を入れて一つながりではないことを示している。
- 右下に□□□／雙鶴□（堂？）／繡□（梓？）とある。版元の可能性が高いが、確証がないのでここでは取らないが、注記に記述しても良い。
- 左側の漢詩は序文ではないので書誌情報には取らないが、注記に記述しても良い。

◆ 第一冊述意



黒口古蜂上兩毒毒人
中黃尾鐵般毒婦心
浦右衛門毒枝



述意

這御史の魁魁の謳語は翻案し明の小説水晶燈の説話
に混合して新小作すけける物語なり都て虚ふと一点
の實あり然といふも忠孝貞義の事を演て勸善の一端と
兇惡奸邪の变化記して懲惡の一助とと且禍福因果善惡
必報の脱する故示して天羅地網毫釐も漏さる理を曉
さしむこと此讀するの兒女若良心を觸動し牽て善小
さるば狂言綺語も小補ありといふ乎

皆文化三年丙寅涂月

醒醒齋京傳識



Q3.ここから取ることができる書誌情報の項目とその内容は？

◆ 第一冊述意



A3. 注記（一般注記）

- 注記：『〈般〉上冊に文化三年醒醒齋京傳の述意あり。』

◆ 第一冊述意



- 解説3.
- この年記はあくまで「述意」が書かれた年なので出版年としては取らず、注記として取る。
 - 序文や跋文に年記がある場合も同様に序跋注記でとる。

◆ 第一冊目録・本文冒頭

必報の脱る故示して天羅地網毫釐も漏さる理を曉
さしむる公讀するの兒女若良心を觸動し牽て善
さる狂言綺語も小補あつと云ふ乎

皆文化三季丙寅涂月
醒醒齋京傳識



梅花水裂總目録

卷之上冊

第一韻 ○ 始養玩金魚 第二韻 ○ 嫉女鞭姓婦

第三韻 ○ 怨魂着金魚 第四韻 ○ 遇妾婦幽霊

第五韻 ○ 笛吹雨醸災

卷之中冊

第六韻 ○ 孝児得天幸 第七韻 ○ 梅為搖錢樹

第八韻 ○ 剪徑扮雪女

卷之下冊

第九韻 ○ 嬌婦苦奇疾 第十韻 ○ 片枝枯留香

通計一十韻目録終

梅之興四兵衛物語 梅花水裂上冊

東都 山東京傳編述

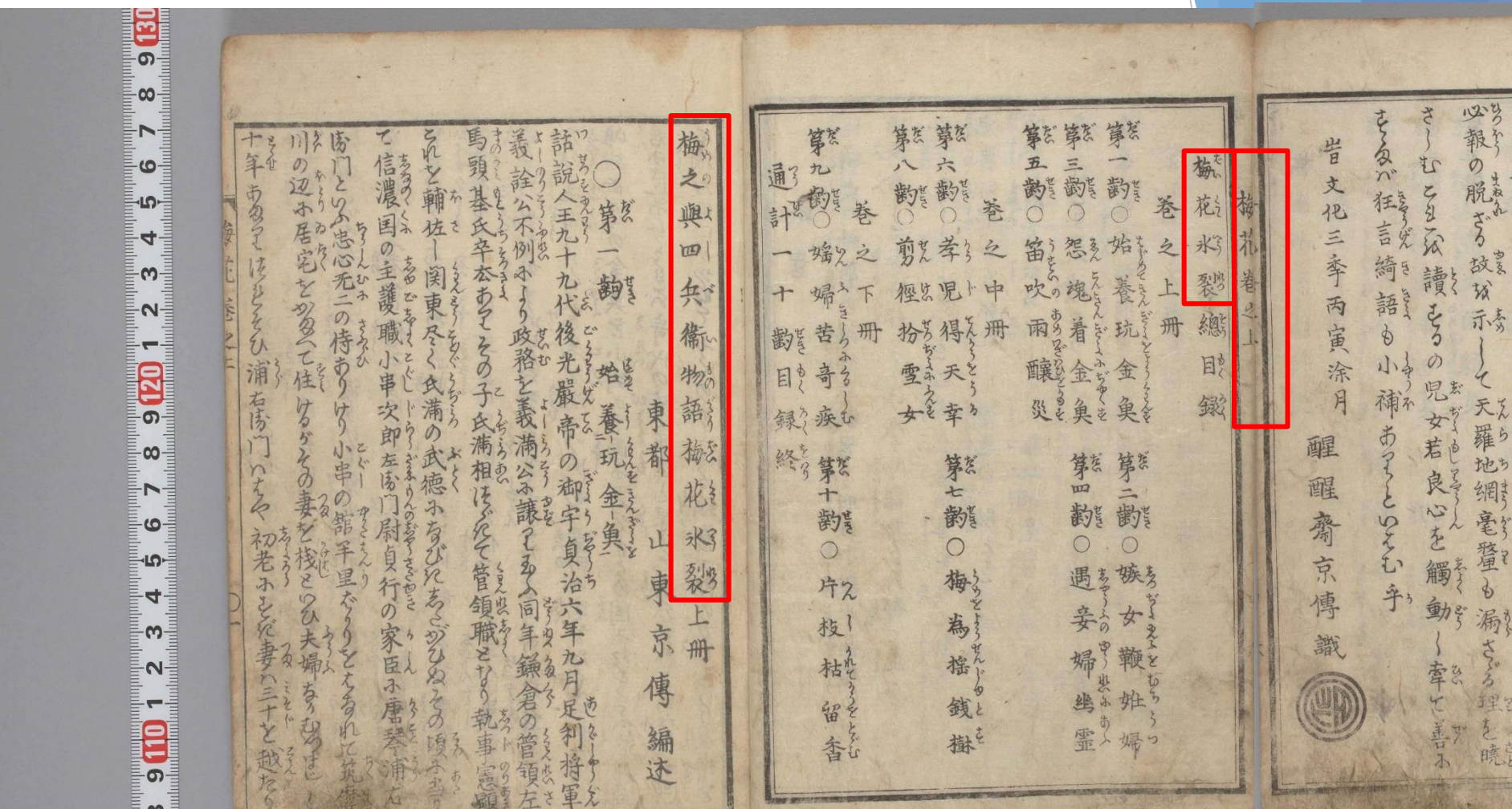
○ 第一韻 始養玩金魚

話説人王九十九代後光嚴帝の御宇貞治六年九月足利將軍
義詮公不例小より政務を義満公に譲りて同年鎌倉の管領左
馬頭基氏卒たれてその子氏満相はたて管領職となり執事憲顯
これを輔佐し關東々々氏満の武徳をなびたてしむるその頃小
て信濃国の主護職小串次郎左衛門尉貞行の家臣小唐琴浦石
内門との忠心无二の侍ありけり小串の館千里なりと云はれて筑
川の辺小居宅を多て住けるその妻を枝とて夫婦をなむる
十年あつてはむるひ浦石内門の老女とて妻の三十と越たり

7 8 9 110 1 2 3 4 5 6 7 8 9 120 1 2 3 4 5 6 7 8 9 130

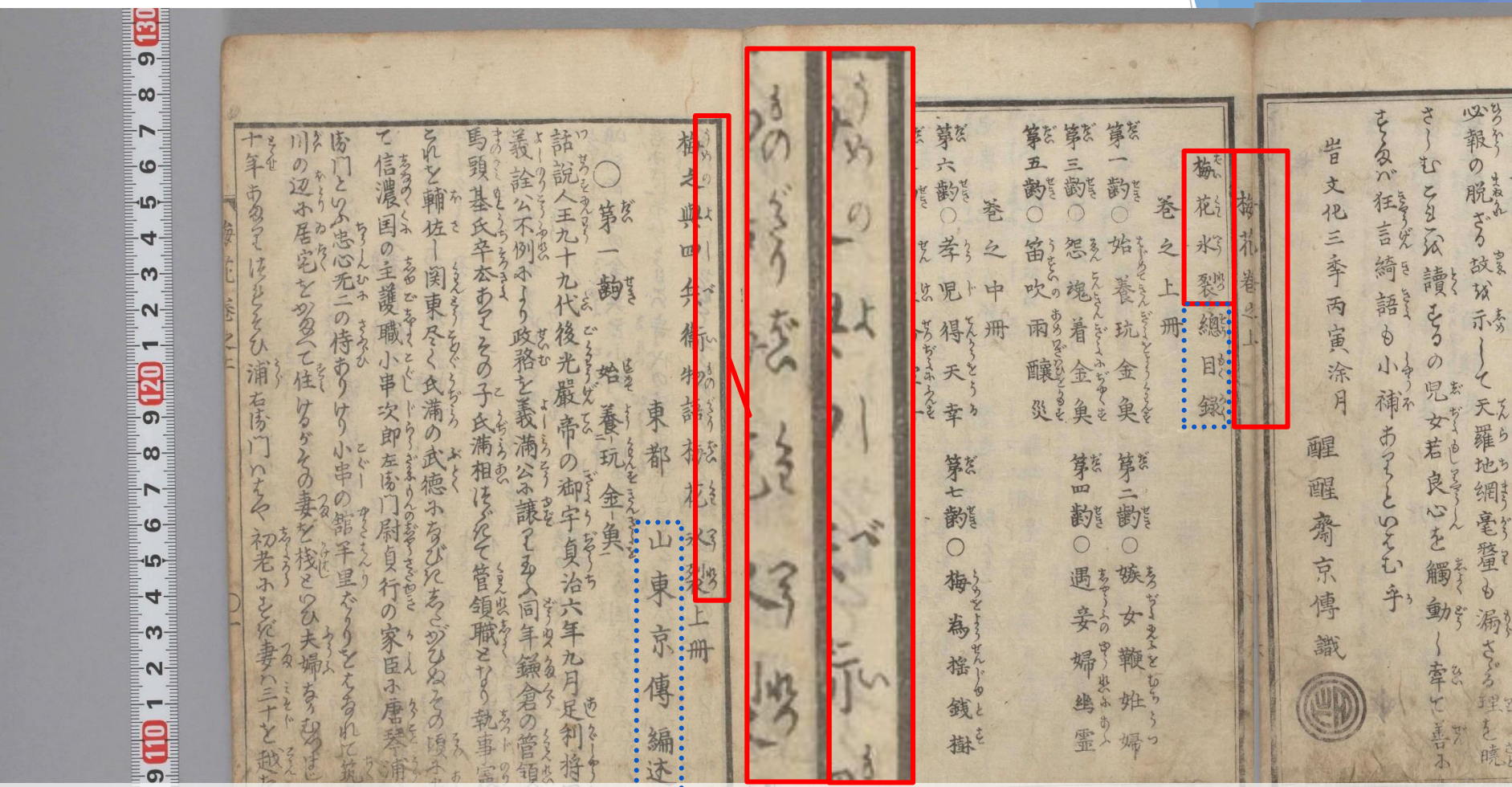
Q4.ここから取ることができる書誌情報の項目とその内容は？

◆ 第一冊目録・本文冒頭



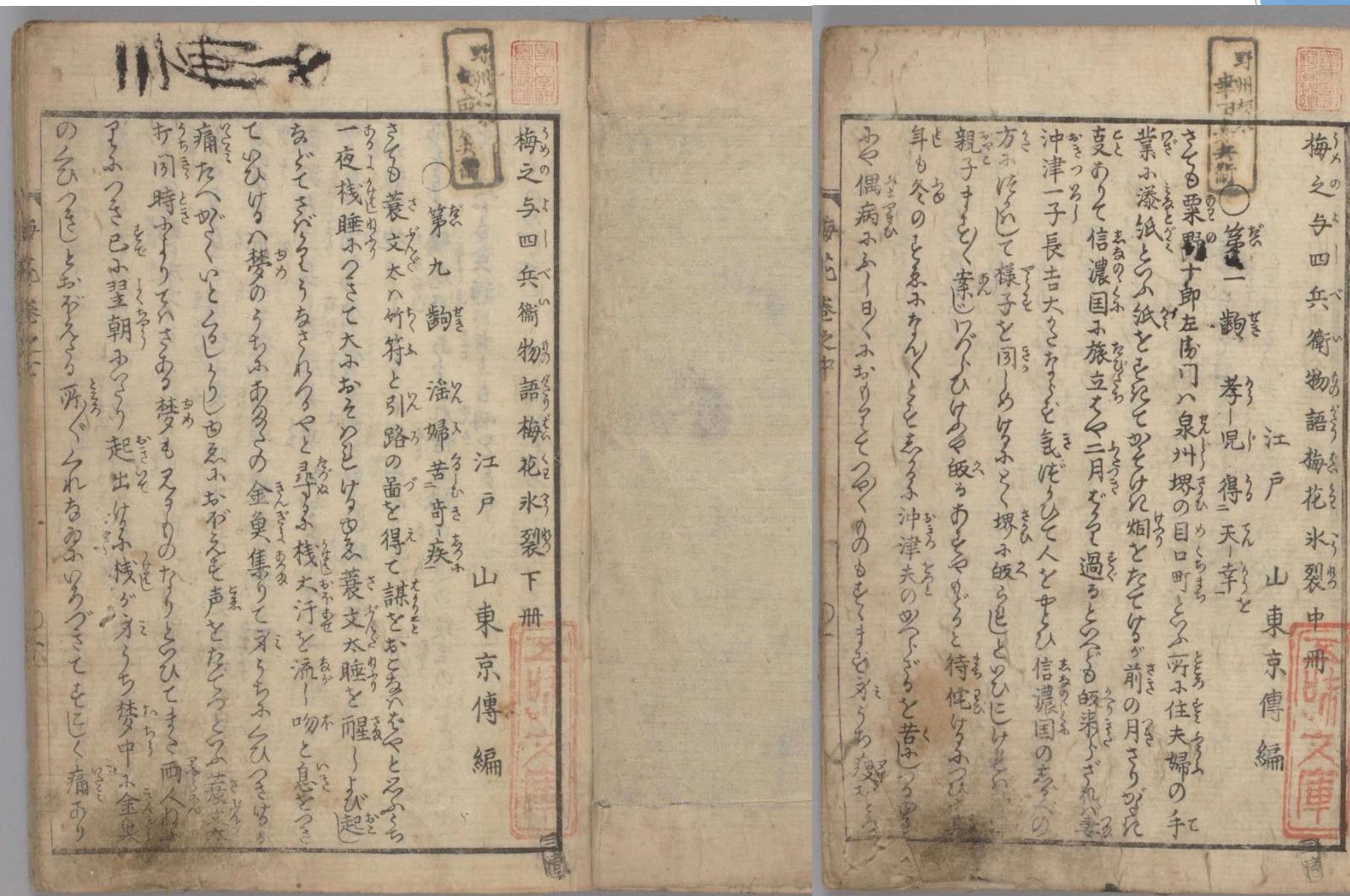
- A4.記載書名（種別：柱（柱題）目（目録題）、内（内題・巻首題））
- 記載書名：『梅花（ばいか）, **柱**』
 - 記載書名：『梅花氷裂（ばいかひょうれつ）, **目**・外』
 - 記載書名：『梅之興四兵衛物語梅花氷裂（うめのよしべいものがたりばいかひょうれつ）, **内**』

◆ 第一冊目録・本文冒頭



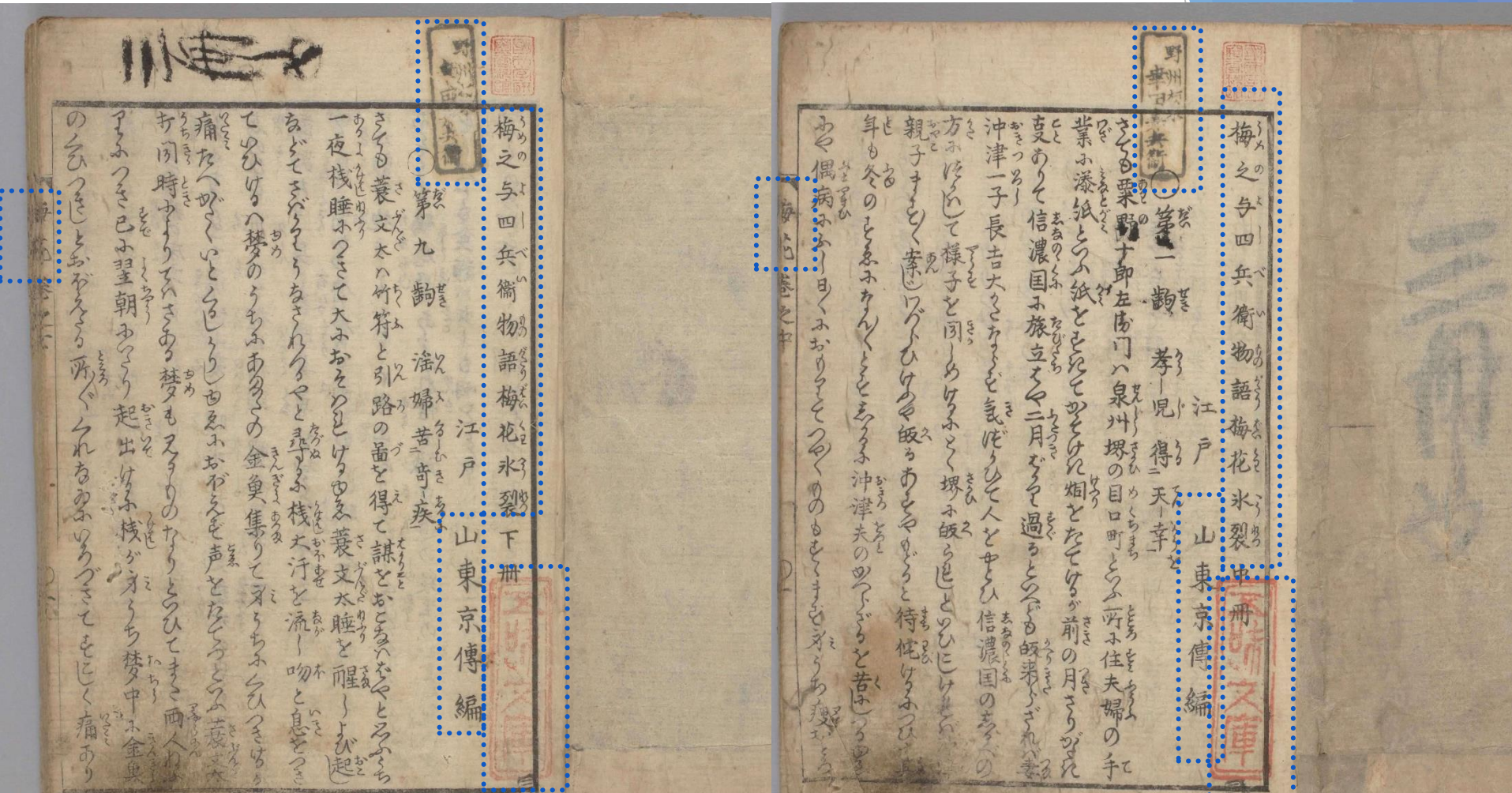
- 解説4.
- 柱題・内題は初めて出る表記なので新たに取り
 - 目録題は外題と同じ表記なので種別のみ追加するが「目録」は書名に含めない
 - 書名にふりがながある時は、現代仮名遣いに直してよみとして取る
 - 著者名の表記が表紙等と違うので取っても良い（今回は画者と一揃いで取るため見返しの表記を採用する）

◆ 第二・三冊本文冒頭



Q5.ここから新たに取る書誌情報はあるか？ある場合の項目とその内容は？

◆ 第二・三冊本文冒頭



A5.新たに取る情報はない

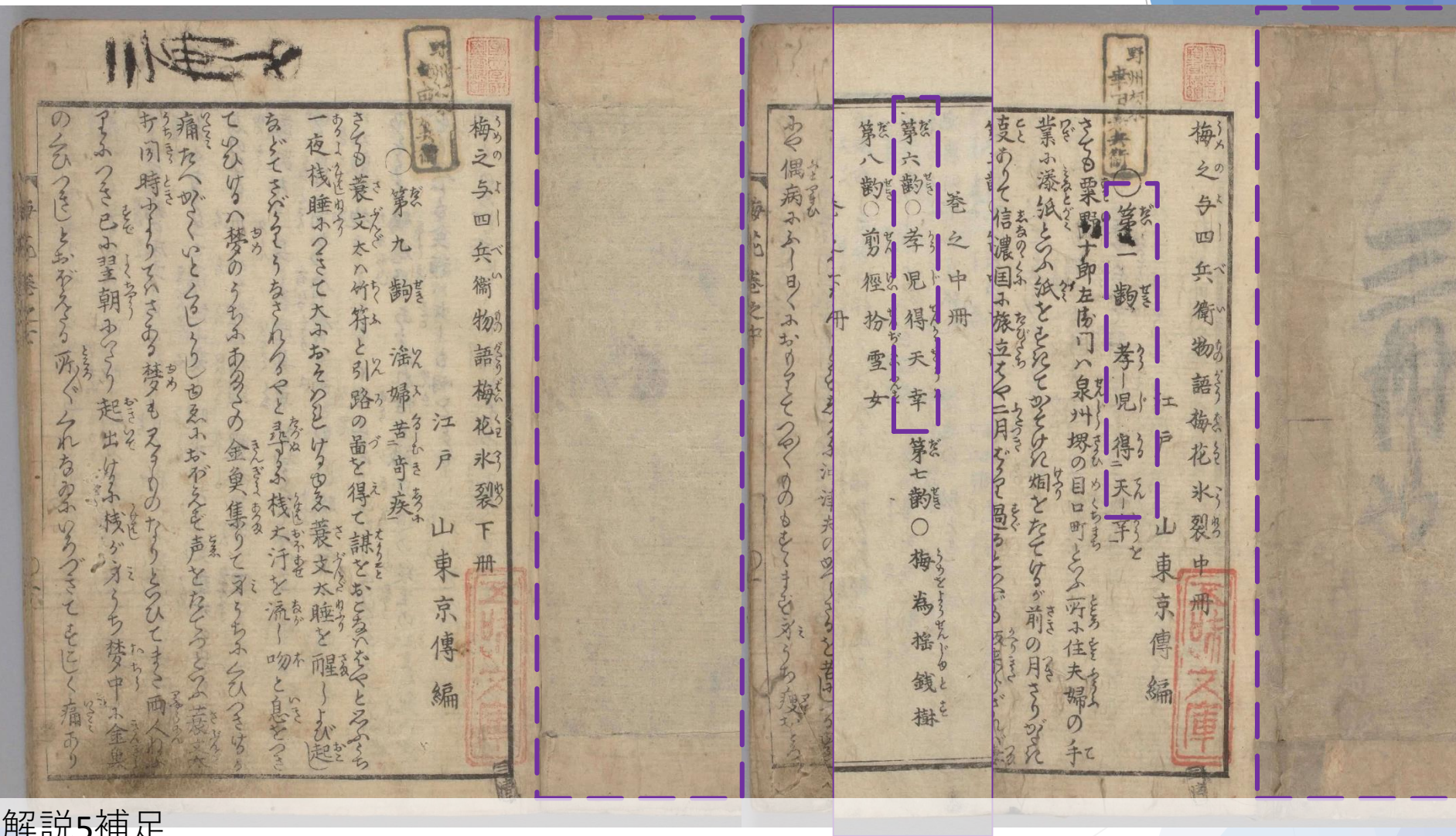
解説5

- 内題・柱題の表記はいずれも上冊と同じ
- 記載著者も上冊と同様の判断で修正しない
- 蔵書印も上冊と同じものであり、複数あっても捺印位置までは記録しない

◆ 第二・三冊本文冒頭

解説5補足

- 続き物の資料では見返しは第一冊のみの場合も多い
- 中冊最初の齣番号が目録と異なっているが、記述対象外

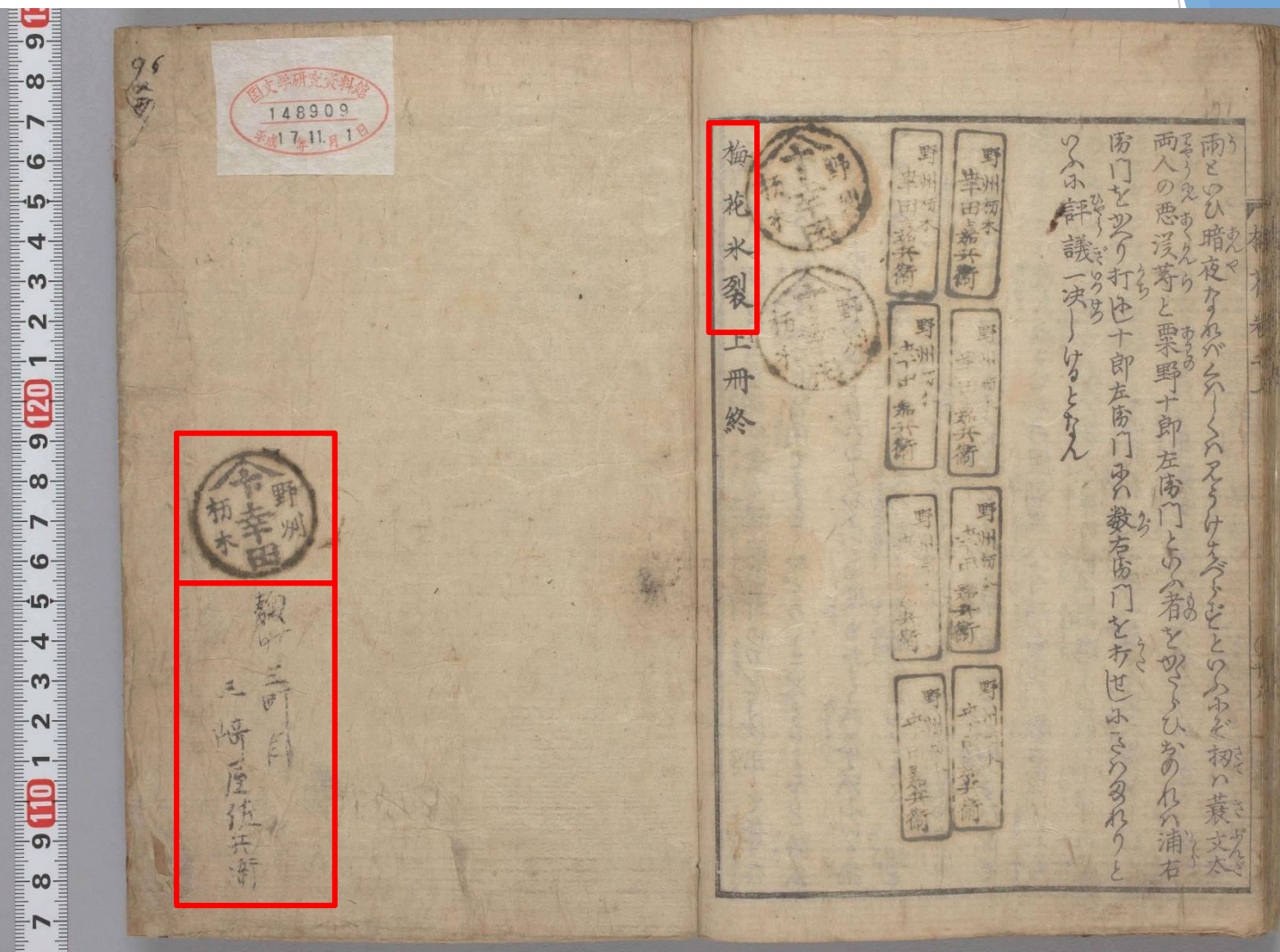


◆ 第一冊本文末尾・後ろ見返し



Q6.ここから取ることができる書誌情報の項目とその内容は？

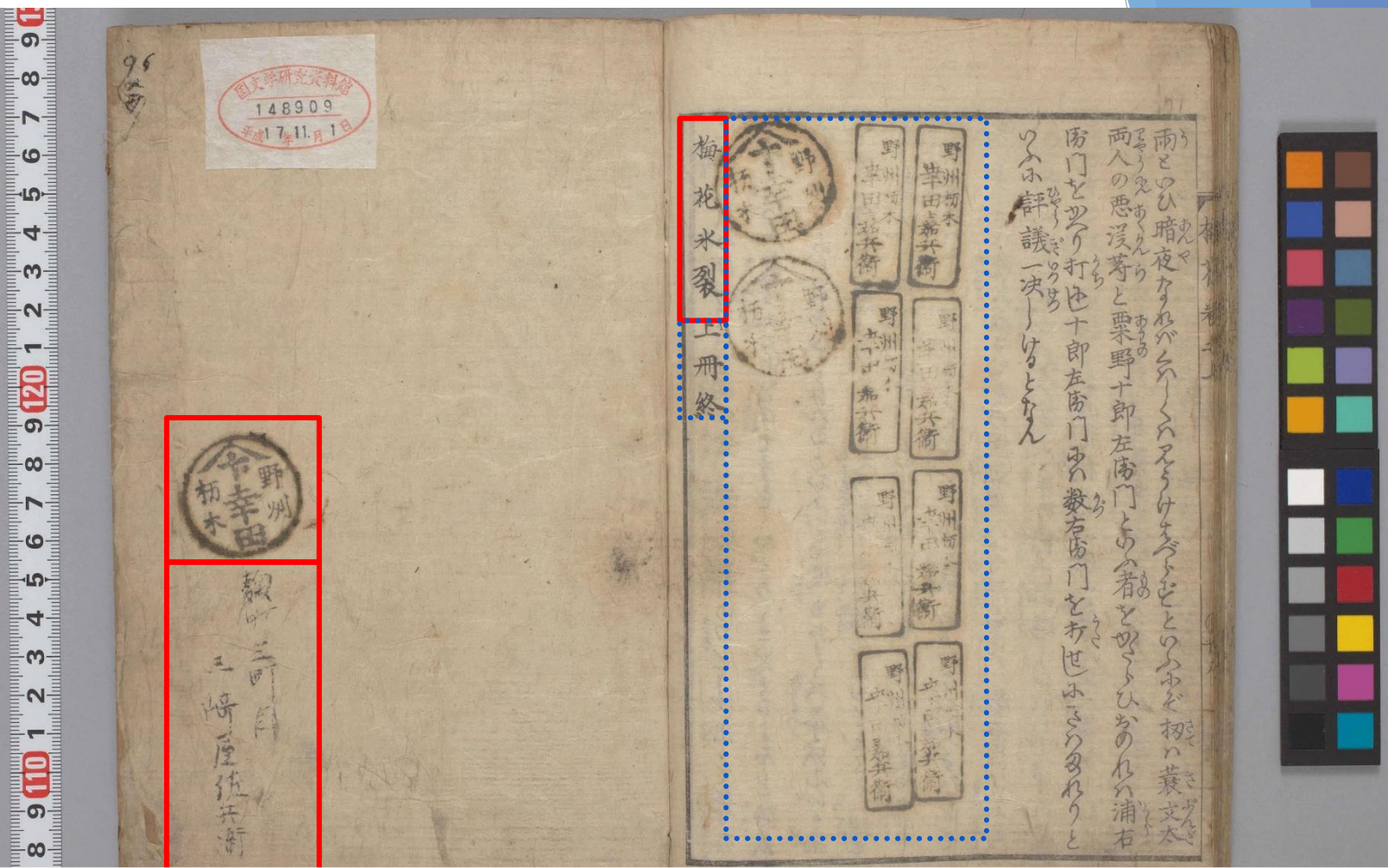
◆ 第一冊本文末尾・後ろ見返し



A6. 記載書名（種別：尾（尾題））、注記（伝来注記）

- 記載書名：記載書名：『梅花氷裂（ばいかひょうれつ）, 目・**尾**・外』
- 注記：『〈伝〉（印記）「五味文庫」「野州杢木幸田嘉兵衛」「野州杢木幸田」,（墨書）「**麴町三丁目三崎屋左兵衛**」。」』

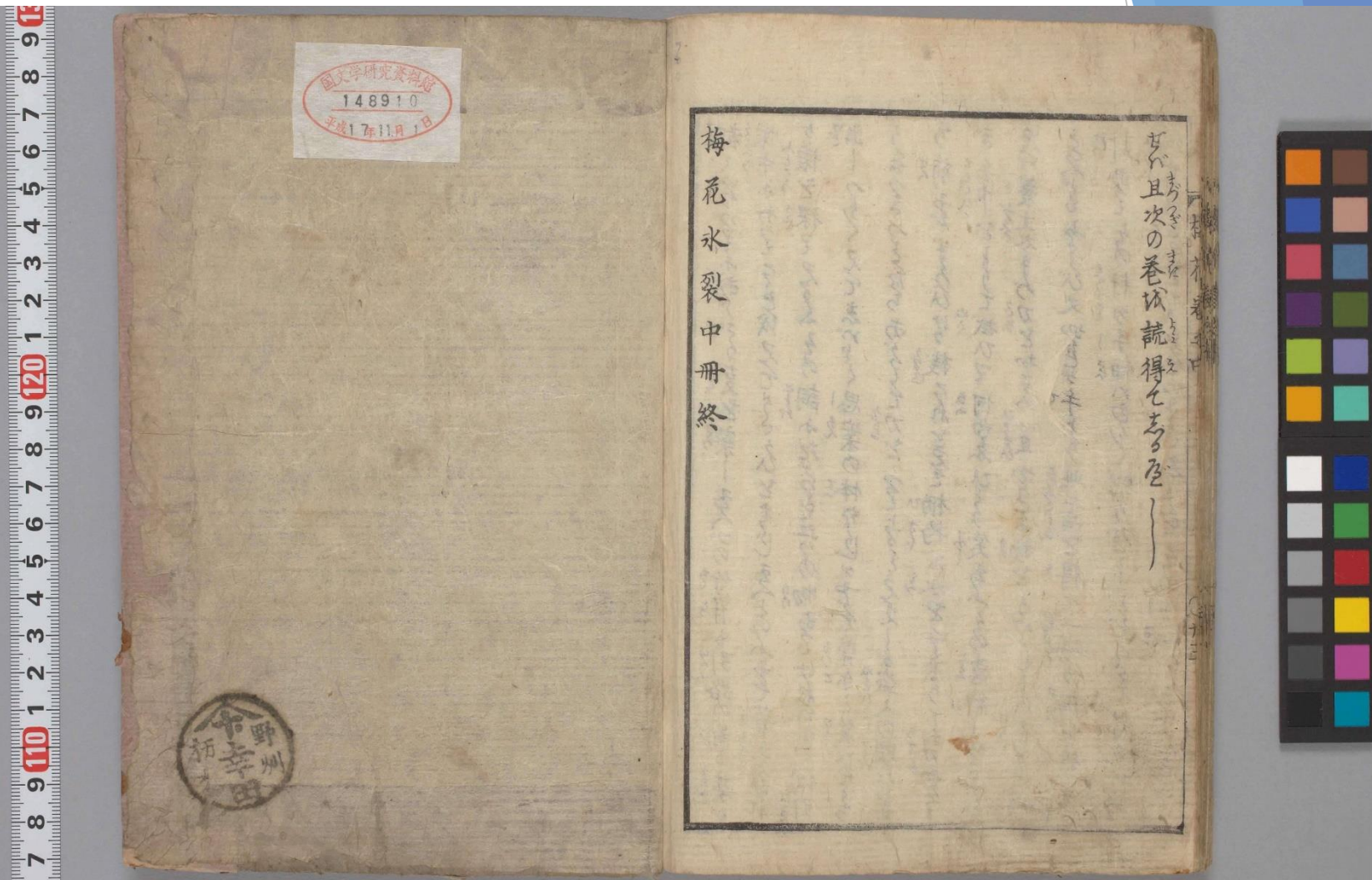
◆ 第一冊本文末尾・後ろ見返し



解説6.

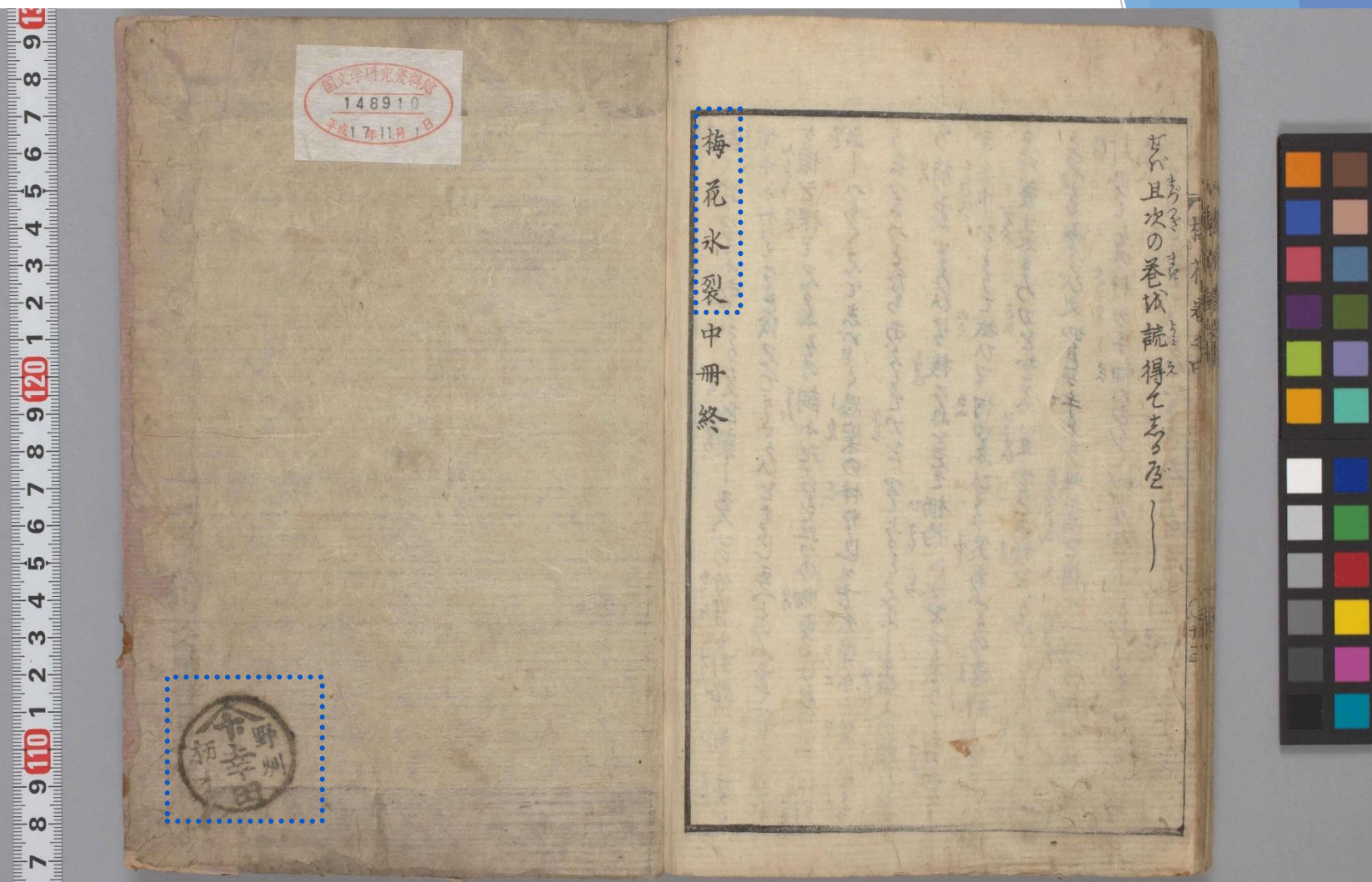
- 尾題は外題等と同じ表記なので種別のみ追加
- 「終」は部編名や「目録」と同様に表題には含めない
- 丸い印は四角い印と印記は似かよっているが、別物なので別途取る。印記だけでは違いが分からないときは、枠の形を取っても良い。（同じ印が複数押されているときは最も読み取りやすいものから取る）

◆ 第二冊本文末尾・後ろ見返し



Q7.ここから新たに取り書誌情報はあるか？ある場合の項目とその内容は？

◆ 第二冊本文末尾・後ろ見返し



A7.特になし。

解説7.

- 尾題・蔵書印とも既にとったもの。

◆ 第三冊本文末尾

さてその時小梅刀を得てうろ昔丁どふしやうと四兵衛葬をあて立ひたり刀どうへひとを
 らぬの手にけり長きが死後の手柄刀の手ふへのちんを敵のありうたぐさう
 ハ唐琴の御家再興ハ面前なりあまうるこひとのひび也戴きく拔えちて
 わつたらスアふ前ゆえーとい品うちて金に價物かりれば大おぢらだぞい
 研屋めが惡意あて女とおあがり價物とよめて金とり心せくす大変
 の使ひ女をやり我一生の誤やりといわば小梅の唯あはれなりむうりやを
 と四兵衛ハ齒がをぬ彼奴を捕て孔明一真の刀をこそと来えといひそ
 て飛がごとく走り行小梅も心ずされば跡あぶれてさせぬはぬるふ是

○此末残こゝにの惡わる美うつくし叢文太夫そうぶんたふよりつくる眼めとむくゆる夏なつ叢文太そうぶんた癩病らいびやうをやそ
無限むげんの苦くるしみをうる夏小梅出產せうばいしゅたんの夏玉骨なつぎよくの水安鏡みづあんきやうの灵驗れいげんある夏与
四兵衛よべい家の梅奇特うめきちとくある夏こと与四兵衛夫婦よべいふうふ刀やいばを尋もとずる為ためか辛苦じんぐ万苦まんく
滝次郎たきじらうをか合あはせてつひに叢文太そうぶんたをち夏絶海禪師なつてつかいぜんしの教化けくわによりて澤も
の花はなの靈成仏得脱れいじやうぶつとくだつの夏滝次郎なつたきじらう与四兵衛夫婦よべいふうふ忠孝貞節ちゅうこうてんせつの功德こんどくによ
り立たちて出世しゅっせいの夏葛飾郡小梅村梅堀からいぬの来由きゆうのたびに後編三冊ごへんさんさく小記せうき
て詳まづかり発兌はつたいの時ときを待得まちえて又々またまたし

梅花水裂後編 三冊 近刻

◆ 第三冊本文末尾



梅花氷裂後編 三冊 近刻

梅花氷裂下冊終

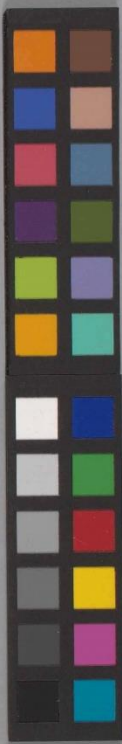
○此末棧が悪霊叢文太ふりつて眼をむくむる夏叢文太癲病をやと無限の苦くとうる夏小梅出産の夏玉骨刀氷姿鏡の霊驗ある夏と四兵衛が家の梅奇特ある夏と四兵衛夫婦刀を尋る為か辛万苦し滝次郎ふかを合せてつひに叢文太とお夏絶海禪師の教化ふりて深の花の霊成仏得脱の夏滝次郎と四兵衛夫婦忠孝貞節の功德ふりて立身出世の夏葛飾郡小梅村梅堀の来由のたひに後編三冊小記して詳なり発兌の時を待得て又ズシ

たしちんご
ひびきあふ野中の清水澄ければさへも誰か人の身
とふ歌を卒都婆お昏つけをあげおたせけつと聞なされもその実否
たしちんご
さとの時小梅刀を得てふ昔丁どと四兵衛葬をよそ立かたり刀をうけとて
さの刀の手ふりけり長吉が死後の手柄刀の手ふりけり敵のありき多明あれ
ハ唐琴の御家再興ハ面前やりあをうろこひといひや也戴さく抜えちて
わたりたる小前ハスーと品をうて全き實物なりれば大おおたさとい
研屋めが悪意おて女とおあかり實物をよみて金とけり心せくす大夏
の使女をやりけり我一生の誤りといひ小梅ハ唯めされたりむろやを
と四兵衛ハ萬々をば彼奴を捕て孔明一真の刀とてと来んとしひを
て飛がごとくお走り行小梅も心ちちんごをば蹴つたてをせぬぬるふは



A8.注記（一般注記）
・ 注記：『〈般〉上冊に文化三年醒醒齋京傳の述意あり，下冊巻末に広告あり。』

- 尾題は既に取ったもの
- 「梅花氷裂後編 三冊 近刻」はこの資料そのものの情報ではないので、一般注記として取る。「広告あり」とのみ取ったが、内容を詳しく書いても良い。





小泉新八郎

清人覺世道人傳方 椿壽齋老人製 一包壹分五釐

○氣えをつゝそのおぢえとどろくと○心算のまゝよんふり○このまぢりくワくふふ
 よゝ○生とつゝとよとれた人月ひせり○つね小幸勝おぢりむろ人老若男女ふぢ
 らぢぢおぢえてあゝあり○な中むろりまゝて病才の人つねふたくりおぢべ
 ○氣うり何のまひあぢつゝ腹痛のたぢひ一粒せて奇功あぢ計のごと

賣弘所 江戸 山東京傳烟草入店

山東京傳烟草入店

近刻

文化四年丁卯春二月薨兌

江戸通油町

鶴屋喜右衛門

全新吉原揚屋町

鶴屋金

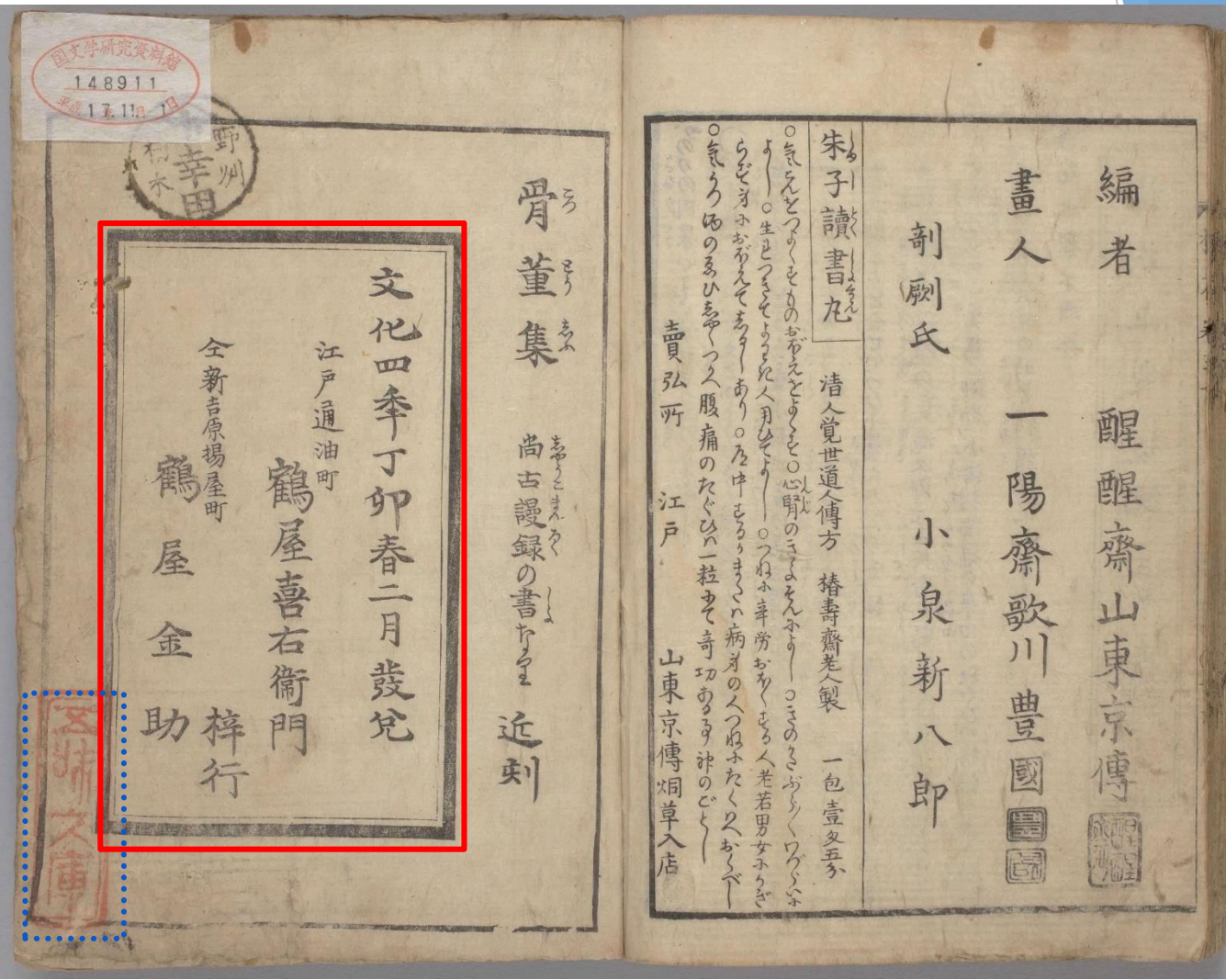
梓行助

国文学研究資料館
148911
平成17.11.1日

野州
幸國
利水

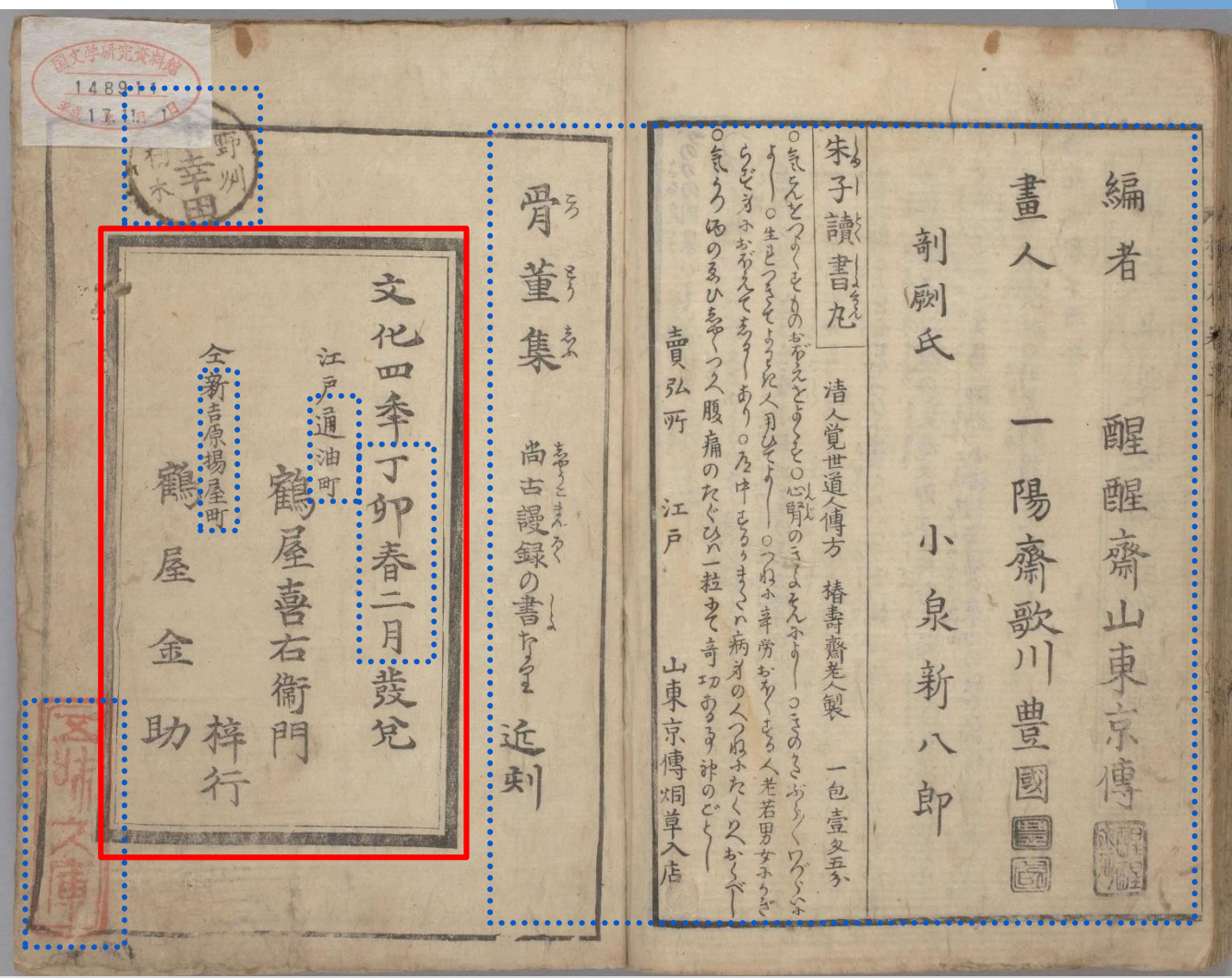
五
味
文
庫

Q9.ここから新たに取り書誌情報はあるか？ある場合の項目とその内容は？



A9.出版事項

- 出版事項：『鶴屋／喜右衛門〈江戸〉， 鶴屋／金助〈江戸〉， 文化4』



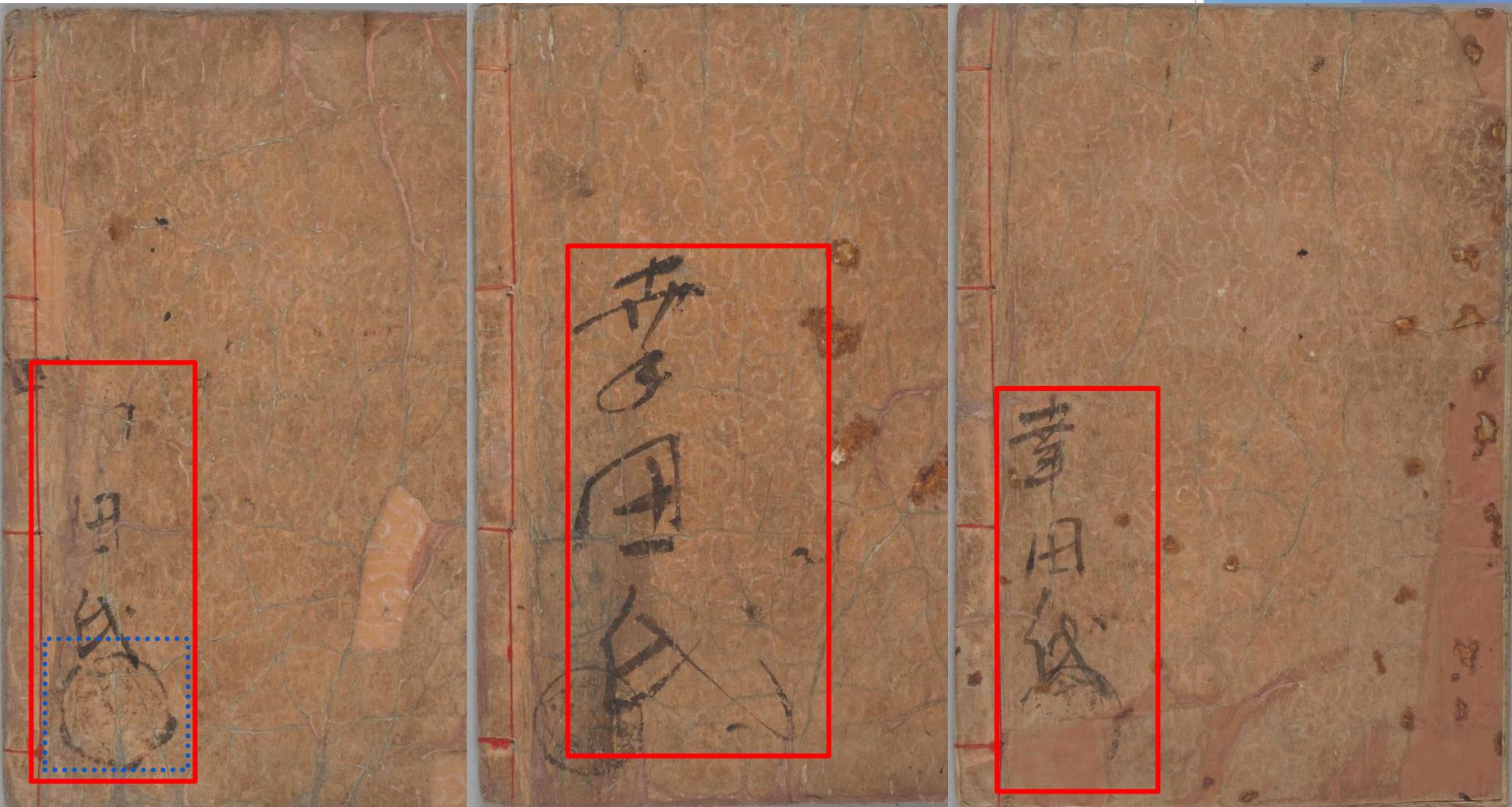
- 解説9.
- 出版者は記載された順番通りに取る。
 - 出版地は都市名を記載し、町村名までは取らない。
 - 出版年は元号と年のみ取り、干支や月日までは取らない。
 - 右丁から「骨董集」までは広告の続きなので新たに取り替えることはしない。

◆ 第一～三冊裏表紙



Q10.ここから新たに取り書誌情報はあるか？ある場合の項目とその内容は？

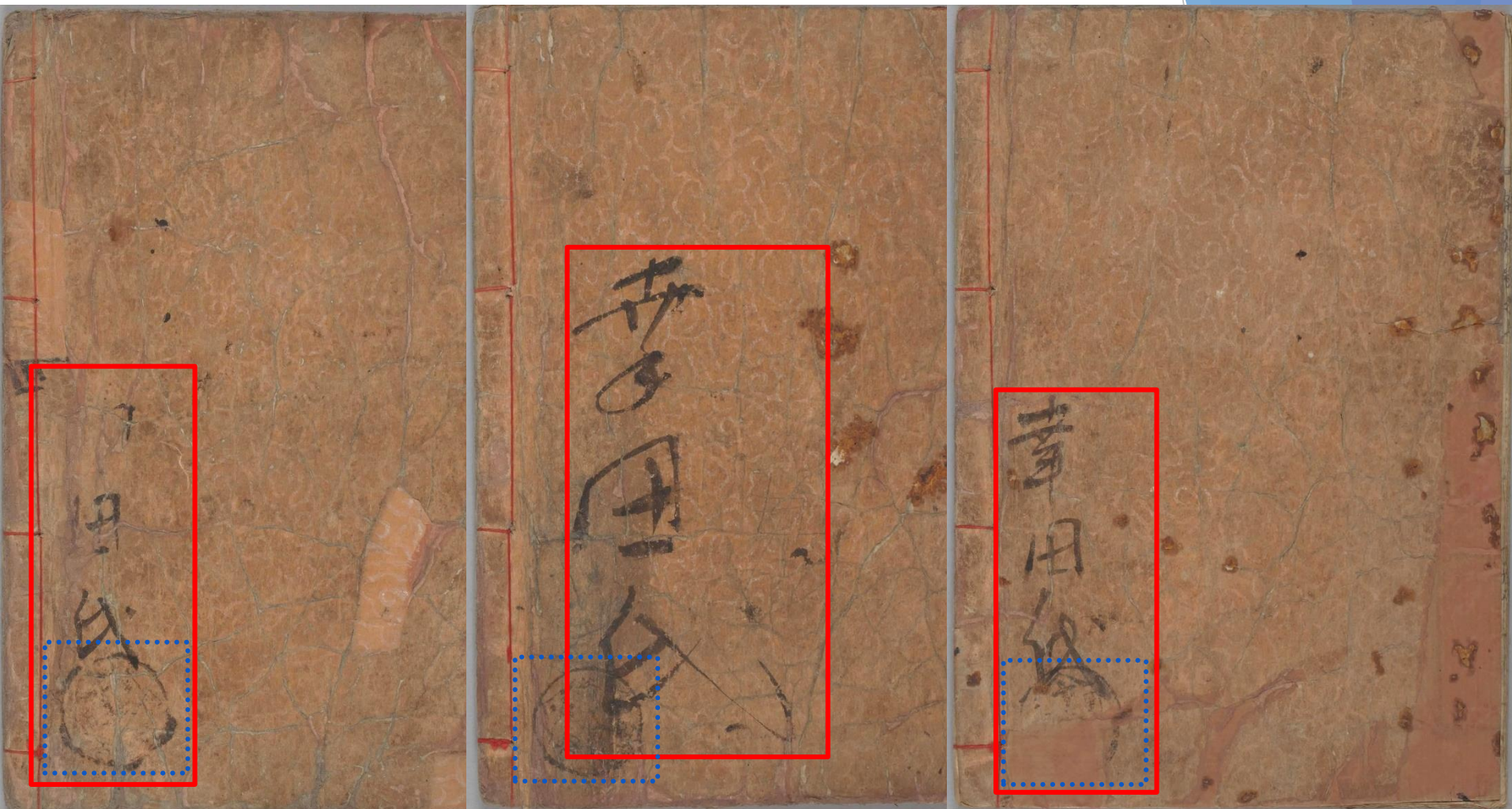
◆ 第一～三冊裏表紙



A10. 注記（伝来注記）

- 注記：『〈伝〉（印記）「五味文庫」「野州栃木幸田嘉兵衛」「野州栃木幸田」，（墨書）「麴町三丁目三崎屋左兵衛」「**幸田氏**」「**□田氏**」。』

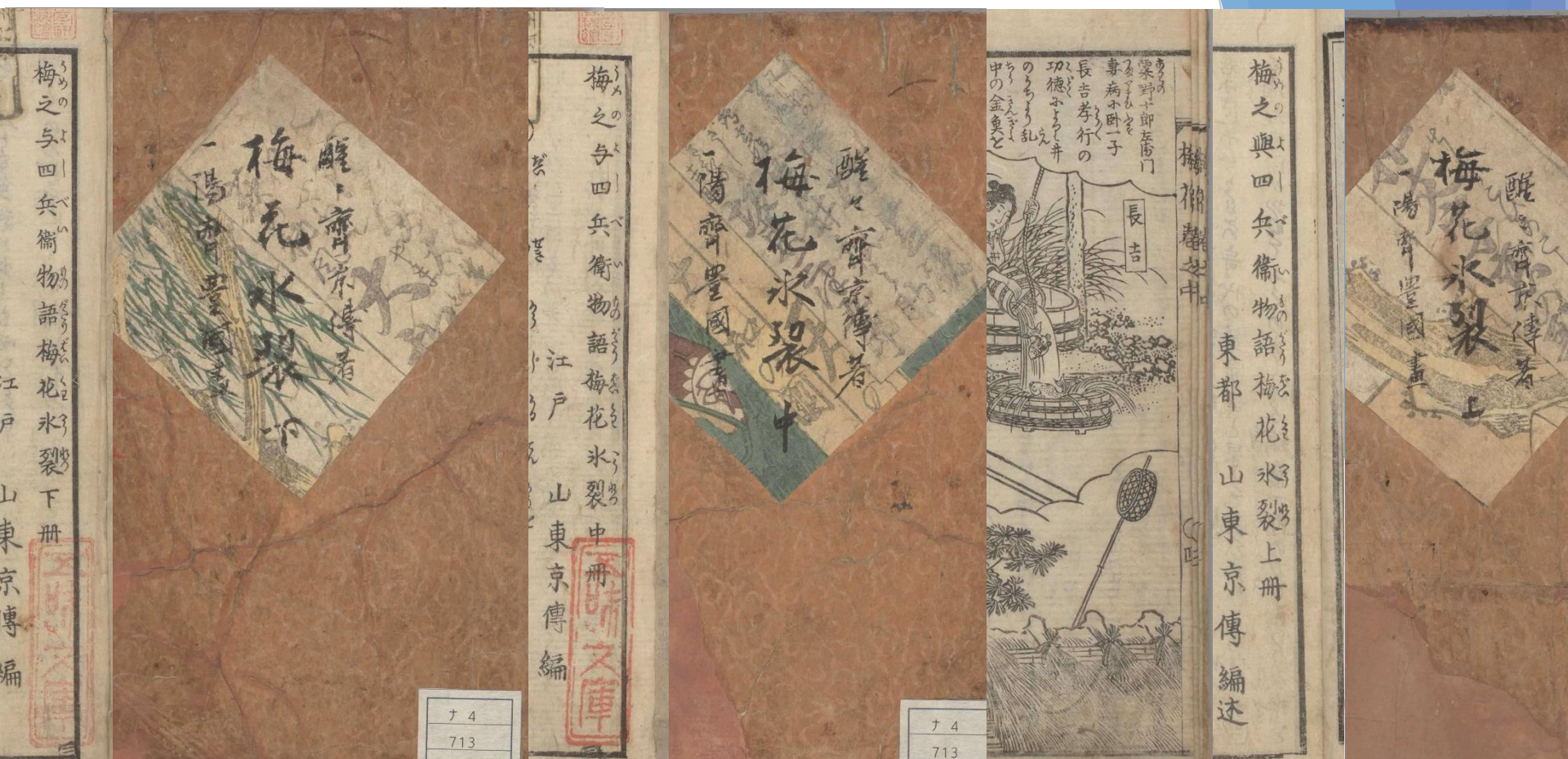
◆ 第一～三冊裏表紙



解説10.

- 墨書の「幸田氏」は初出なので注記に追加する。
- 「氏」の字にかかると押された印は既にとったもの。
- 第三冊の最初の文字は判別できないので、別途「□田氏」で取った。
- 書き込みが所蔵者によると判断できない場合は一般注記で取っても良い。

◆ 全冊を通して

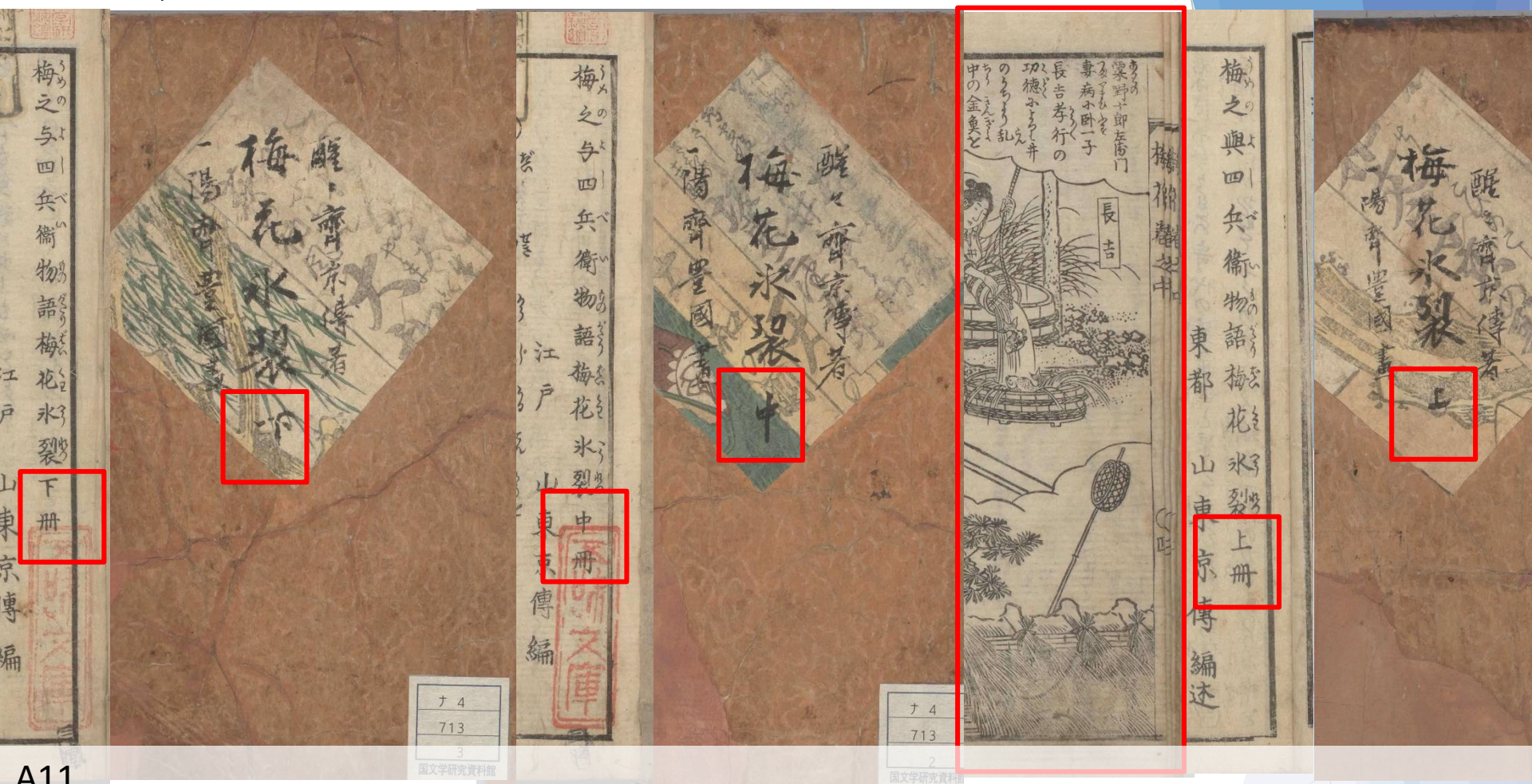


Q11.資料全体を通しての情報から以下の情報はどのように記載するか？

- この資料の巻数
- 今まで取ってきたものの以外の注記

※画像からは大きさを測ることが出来ないため、今回の演習では設問から外しています。
実際に目録を取る場合には、大きさも測って下さい。
(この資料の大きさは、 $22.5 \times 15.8\text{cm}$ の半紙本です)

◆ 全冊を通して



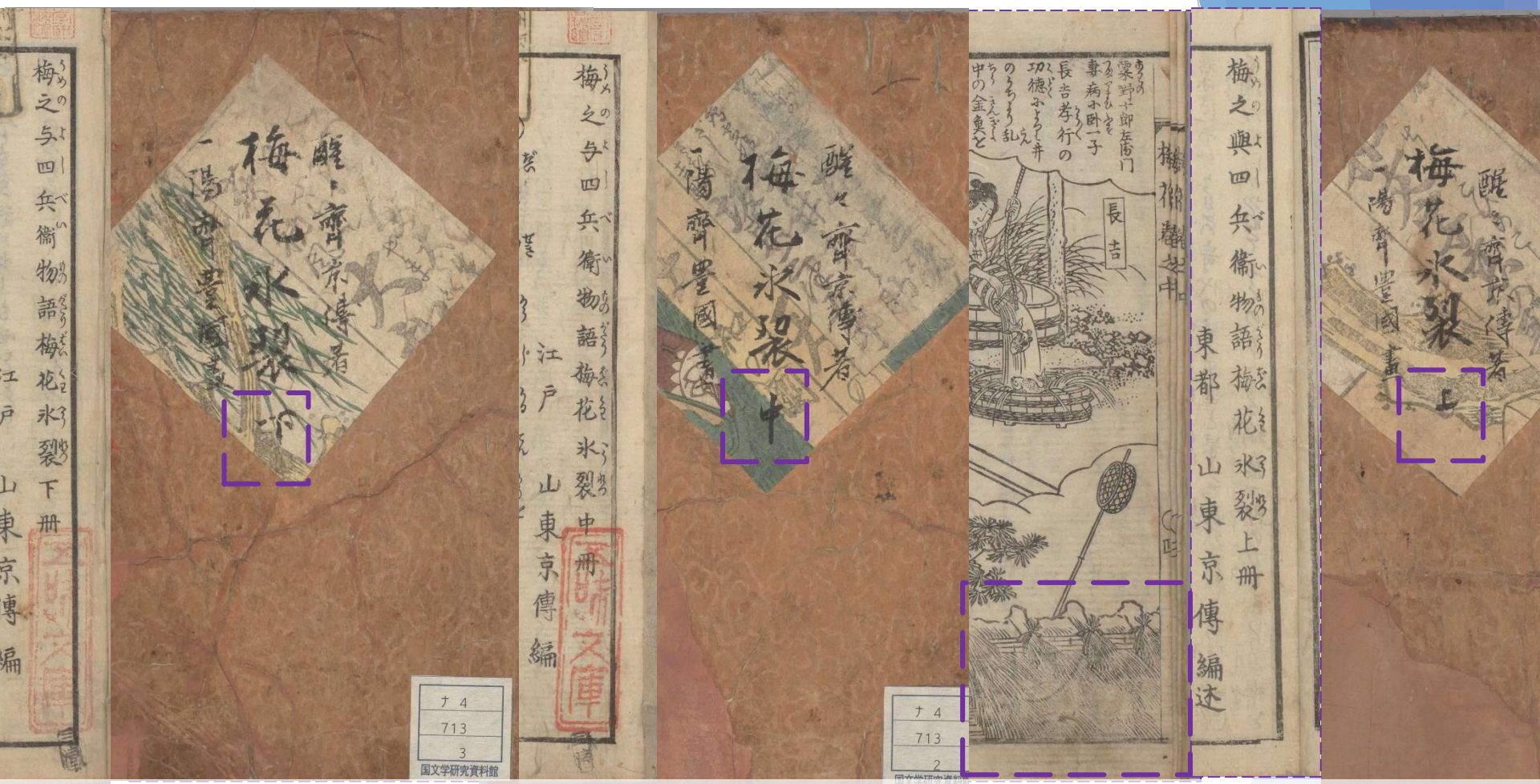
A11.

- 卷数：『上中下』
- 注記：『〈般〉上冊に文化三年醒々齋京傳の述意あり，下冊巻末に広告あり，**絵入本**。』

解説10.

- 本文冒頭に上冊・中冊・下冊とあるが「冊」は巻数に取らないので「上中下」。
- 挿絵等がある場合には、利用者に判るよう一般注記に記載すると良い。

◆ 全冊を通して



解説11.補足

- この資料では題簽と本文冒頭とで巻次が一致しているが、もし一致していなければ本文冒頭を優先する
- 挿絵がある丁の下の方を見ると灰色に汚れているが、現物を見ると何度もめくられたことにより、すれて付いたものだと分かる。こうした劣化などは取り扱う際の注意事項にもなるので「本文手ずれ」などと取ると良い（他に虫損・水濡れ・カビなど）

◆ 著作の検索

 国書データベース English

【著作検索】

刊写の別
[刊 \(1\)](#)

種別
[他機関目録 \(1\)](#)
[マイクロ/デジタル \(1\)](#)
[国文研蔵 \(1\)](#)

分類
[読本 \(1\)](#)

キーワードを入れて検索

書名 ▼ 梅花氷裂 部分一致 ▼

著者名 ▼ 京伝 部分一致 ▼

分類 ▼ 部分一致 ▼

種別 ☐ 全て ☐ 和古書 ☐ 明治 ☐ 漢籍

[簡易検索](#)

書誌から探す

著作から探す

著者から探す

該当件数：1件 (1-1件目)

1

No. 統一書名, 著作ソース, 分類, 作品著者名, 成立年, 書誌件数, WID

1 [絵本梅花氷裂, K, 読本, 歌川/豊国\(歌川/豊国/一世\) 画, 文化四刊, 5件, 112527](#)


1

解説

- ここまでで見つけた書誌情報から国書データベースの詳細検索画面で「書名」に「梅花氷裂」、「著者名」に「京伝」と入力して検索すると1件著作が見つかった。

※記載箇所によって表記にゆれがあるので、共通している文字列を新字体に直して「梅花氷裂」と「京伝」を検索語にした。

◆ 著作の検索

 国書データベース

English ⋮

【著作詳細】

著作ID	112527
統一書名	絵本梅花氷裂（えほんばいかひょうれつ）（Ehonbaikahyouretsu）
巻冊	四冊
別書名	[1] 梅之与四兵衛物語／梅花氷裂 うめのよしべえものがたり／ばいかひょうれつ） （Umenoyoshibeemonogatari Baikahyouretsu）
著者	山東／京伝（Santou Kyouden） 編 歌川／豊国（歌川／豊国／一世）（Utagawa Toyokuni(Utagawa Toyokuni 1sei)） 画
分類	読本
成立年	文化四刊（1807）
著作注記	〈備〉日本古典文学大辞典に解説あり（梅花氷裂）。〈欧〉欧州所在日本古書総合目録にもデータあり。
国書所在	【版】 <文化四版> 大橋 <文政九版> 国会，早大，大橋
著作種別	和古書
著作ソース	『国書総目録』所収， 1

書誌件数：5件 （1-5件目）

1

解説

- 別書名と著者がこの資料と合致し、文化4年版が存在するので「112527」をwidに取る
- また、別書名のよみをよく見ると「うめのよしべえものがたり」となっていてふりがなとは異なっているので、「記載書名のよみはふりがなによる。」と一般注記に追加する。
- なお、著作の情報だけでは確信が持てない場合は、書誌に画像があれば見比べる。

和古書		*は該当に○		preno		ppreno		cpreno	
cid		wid	112527	* widなし					
統一書名表記									
" よみ									
統一著者名(よみ)									
記載書名	1 表記	<input type="checkbox"/>	梅花氷裂	種別	目・尾・外				
	よみ		ばいかひょうれつ						
	2 表記	<input type="checkbox"/>	梅之與四兵衛物語／梅花氷裂	種別	見				
	よみ		うめのよしべえものがたり／ばいかひょうれつ						
	3 表記	<input type="checkbox"/>	梅花	種別	柱				
	よみ		ばいか						
	4 表記	<input type="checkbox"/>	梅之與四兵衛物語梅花氷裂	種別	内				
	よみ		うめのよしべいものがたりばいかひょうれつ						
	5 表記	<input type="checkbox"/>		種別					
	よみ								
	6 表記	<input type="checkbox"/>		種別					
	よみ								
記載著者	1 著者名	醒醒斎／京傳			役割	著	伝	部編等	
	2 著者名	一陽斎／豊國			役割	画	伝	部編等	
	3 著者名				役割		伝	部編等	
	4 著者名		他等		役割		伝	部編等	
* 書写・出版事項	1 書肆(地名) or 書写者(地名)	鶴屋／喜右衛門(江戸), 鶴屋／金助(江戸)							
	複数は, で繰り返し								
	刊年 or 書写年	文化4							
	部編等								
	2 書肆(地名) or 書写者(地名)								
	複数は, で繰り返し								
	刊年 or 書写年								
	部編等								
* (刊) / 写 / 混									
冊数					3	冊	巻数	上中下	叢書巻号表示
							残欠		

● データシート

〈伝〉	(印記)「五味文庫」「野州栃木幸田嘉兵衛」「野州栃木幸田」, (墨書)「麹町三丁目三崎屋左兵衛」「幸田氏」「口田氏」。
〈般〉	上冊に文化三年醒醒斎京傳の述意あり, 下冊巻末に広告あり, 絵入本, 記載書名のよみはふりがなによる。

和古書		*は該当に○		preno		ppreno		cpreno	
cid		wid	112527	* widなし					
統一書名表記									
" よみ									
統一著者名(よみ)									
記載書名	1 表記 □	梅花氷裂						種別	目・尾・外
	よみ	ばいかひょうれつ							
	2 表記 □	梅之與四兵衛物語／梅花氷裂						種別	見
	よみ	うめのよしべえものがたり／ばいかひょうれつ							
	3 表記 □	梅花						種別	柱
	よみ	ばいか							
	4 表記 □	梅之與四兵衛物語梅花氷裂						種別	内
	よみ	うめのよしべいものがたりばいかひょうれつ							
	5 表記 □							種別	
	よみ								
6 表記 □							種別		
よみ									
記載著者	1 著者名	醒醒斎／京傳				役割	著	伝	部編等
	2 著者名	一陽斎／豊國				役割	画	伝	部編等
	3 著者名					役割		伝	部編等
	4 著者名					他等		伝	部編等
* 書写・出版事項	1書肆〈地名〉or 書写者〈地名〉 複数は、で繰 り返し	鶴屋／喜右衛門〈江戸〉、鶴屋／金助〈江戸〉							
	刊年or書写年	文化4							
	部編等								
	2書肆〈地名〉or 書写者〈地名〉 複数は、で繰 り返し								
	刊年or書写年								
	部編等								
* (刊) / 写 / 混		巻数	上中下				叢書巻号表示		
冊数				3	冊	残欠			
形態(丁数, 寸法, 紙型)		22. 5 × 15. 8cm, 半							
和古書メディア表 原資料請求記号								—	
登録番号									
備考	* 書誌構造	単独(子書誌) / 叢書 / 合綴(取り合せ本) / 合刻・合写							
注記	〈 〉								

[illegible]

目録演習は以上です。
お疲れ様でした。



ここからは、演習とは異なる資料の
場合を例題として紹介していきます。





不知火草紙／旧名敵討天神利生記

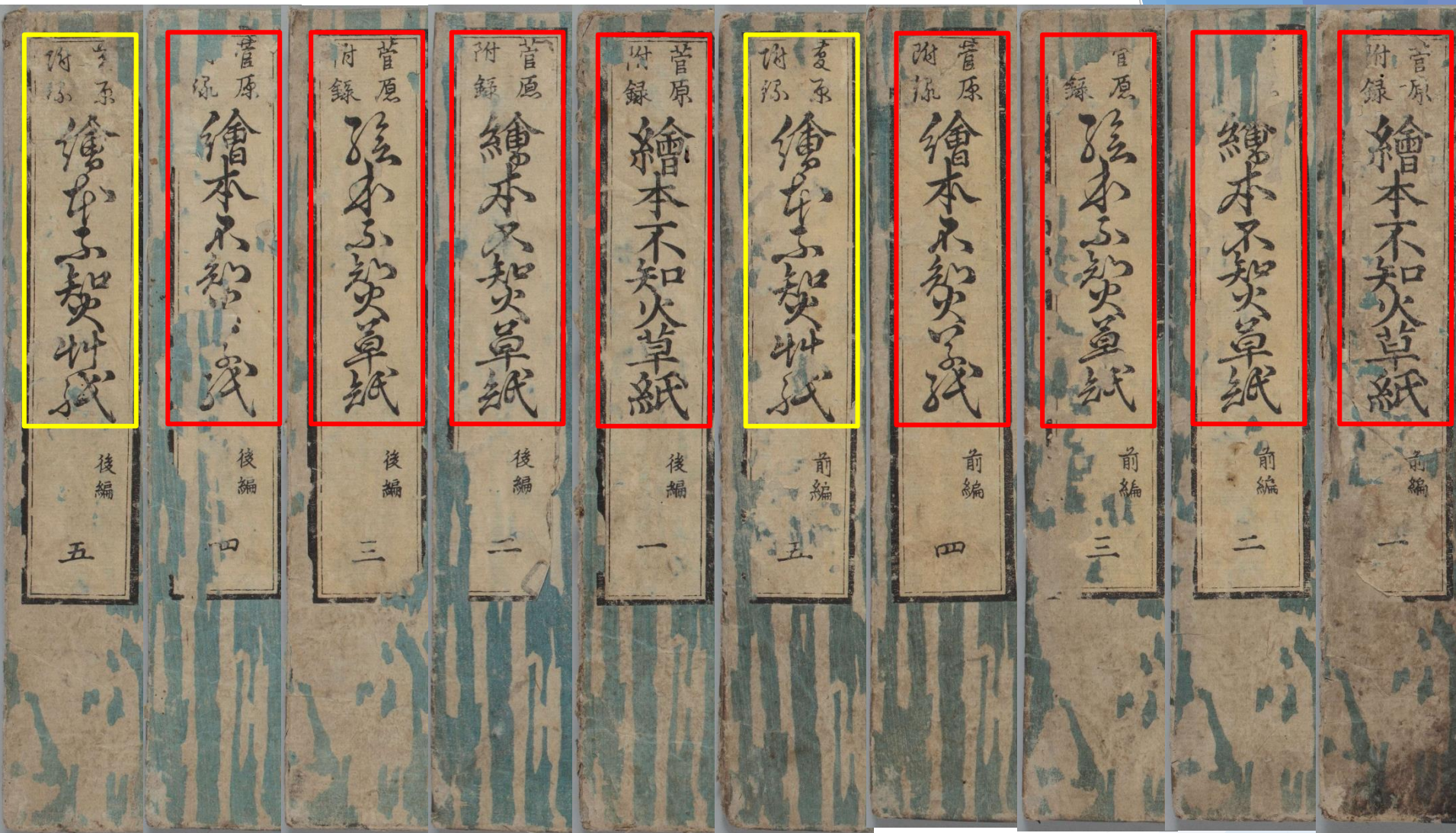
<https://doi.org/10.20730/200021189>

◆ 表紙（各冊）



例題1.ここから取ることができる外題は？

◆ 表紙 (各冊)



回答1. 以下の2つ

- 『菅原附録／繪本不知火草紙 (すがわらふろく／えほんしらぬいそうし) 』
- 『菅原附録／繪本不知火草紙 (すがわらふろく／えほんしらぬいそうし) 』

◆ 表紙（各冊）



解説 1

- 意味が同じでも異体字・別字を使っているときは別の書名として取る。
- 『草』と『艸』は別の漢字なので、それぞれを書名として取る必要がある。

◆ 本文冒頭 (各巻)



不知火草紙卷之二



不知火草紙卷之三



管原 繪本不知火草紙卷之三

後篇

管原 繪本不知火草紙卷之四

後篇

管原 繪本不知火草紙卷之五

後篇

松ヶ寄豫州不て賊船小乗

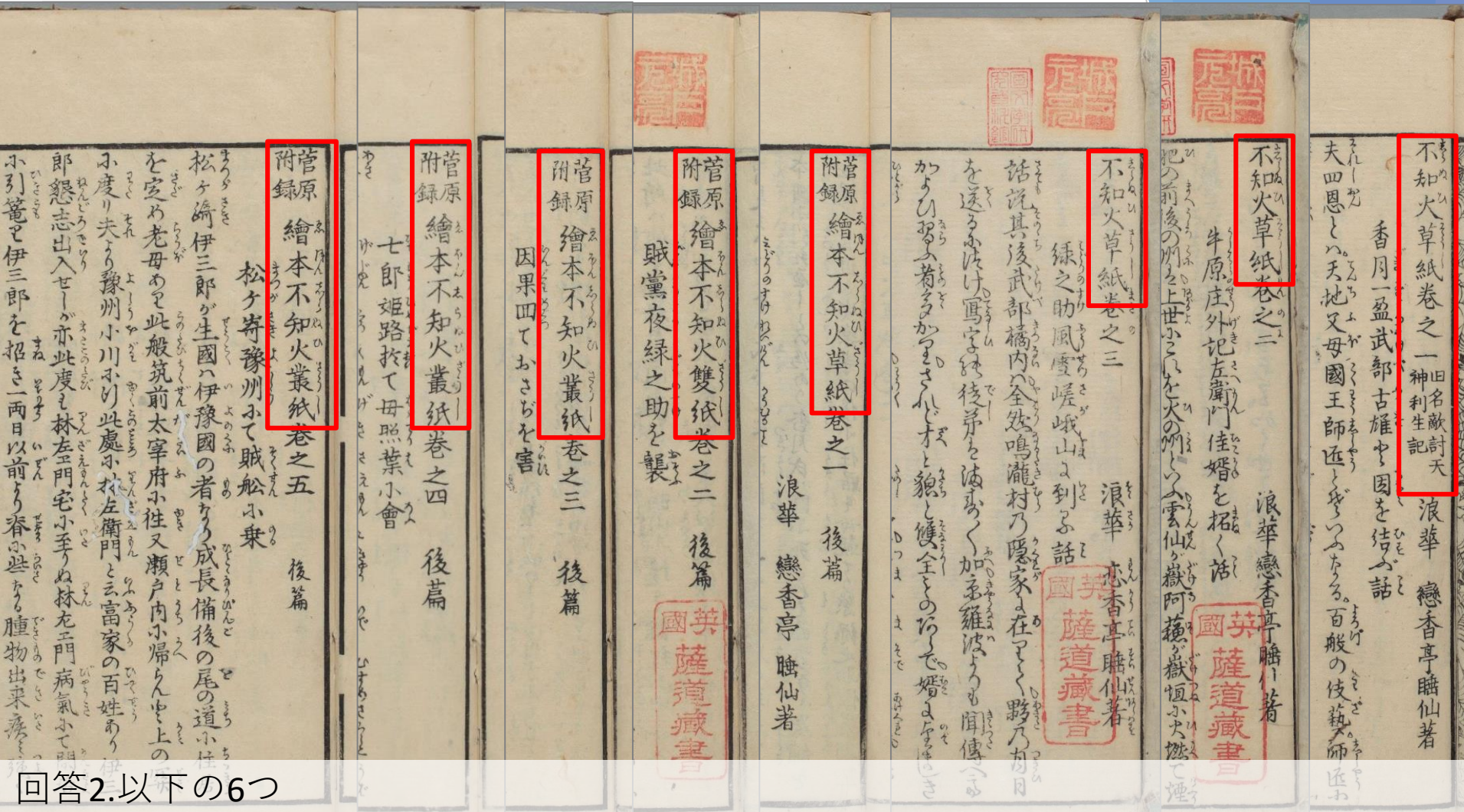
小引 竈で伊三郎を招き一兩日以前より脊ふ此なる腫物出来瘡を強く
即懇志出入せし亦此度も林左門宅小至りぬ林左門病氣不て閑居
不度り夫より豫州小川不此處不左衛門と云富家の百姓あり伊三
を定め老母め此般筑前太宰府不往又瀬戸内小帰らん上上の座
松ヶ崎伊三郎が生國ハ伊豫國の者なり成長備後の尾の道小住居
附録

後編

前編

例題2.ここから取ることができる内題は？

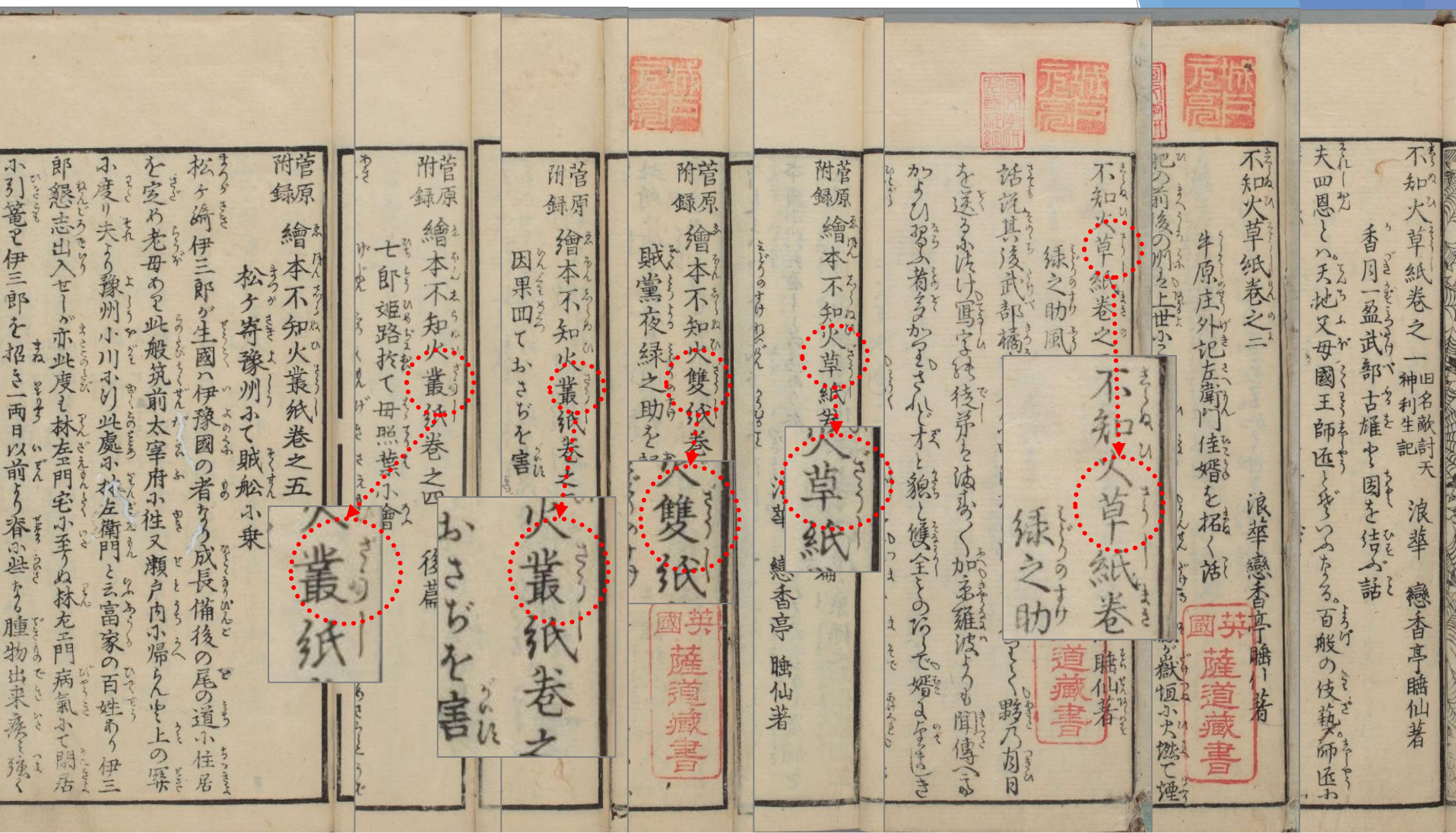
◆ 本文冒頭 (各巻)



回答2. 以下の6つ

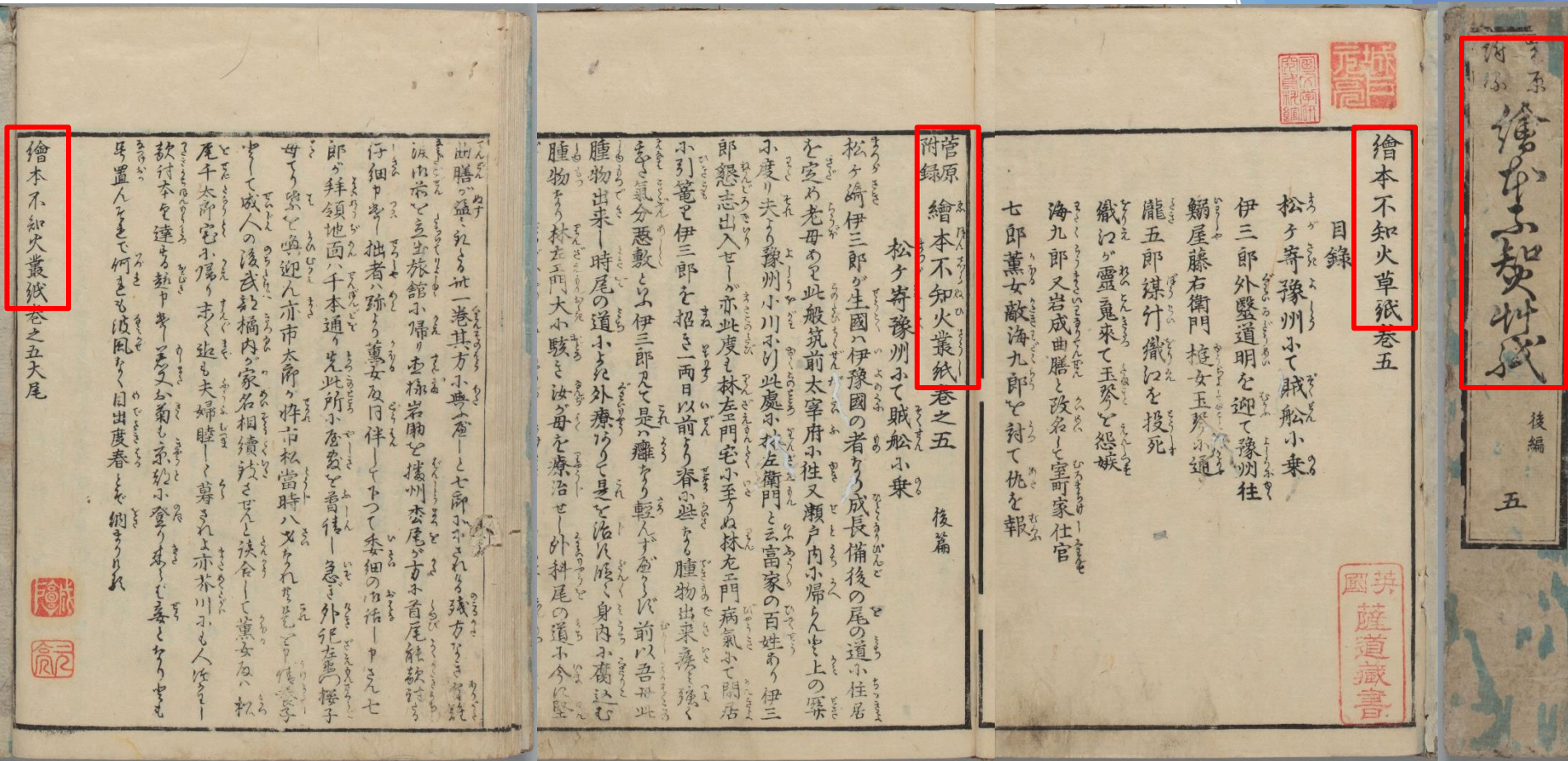
- 『不知火草紙／旧名敵討天神利生記（しらぬいそうし／きゅうめいかたきうちてんじんりしょうき）』
- 『不知火草紙（しらぬいそうし）』
- 『菅原附録／繪本不知火草紙（すがわらふろく／えほんしらぬいぞうし）』
- 『菅原附録／繪本不知火雙紙（すがわらふろく／えほんしらぬいぞうし）』
- 『菅原附録／繪本不知火叢紙（すがわらふろく／えほんしらぬい**そう**し）』
- 『菅原附録／繪本不知火叢紙（すがわらふろく／えほんしらぬい**ぞう**し）』

◆ 本文冒頭 (各巻)



- 解説2.
- 外題と同様に巻首題も各巻によって使用している文字が変わることがある。
 - 振り仮名をよく見ると、濁音だったり清音だったりがある。
 - 一文字だけ違う場合には見落とすこともあるので要注意。

◆ 第十冊目録冒頭・本文冒頭・末尾

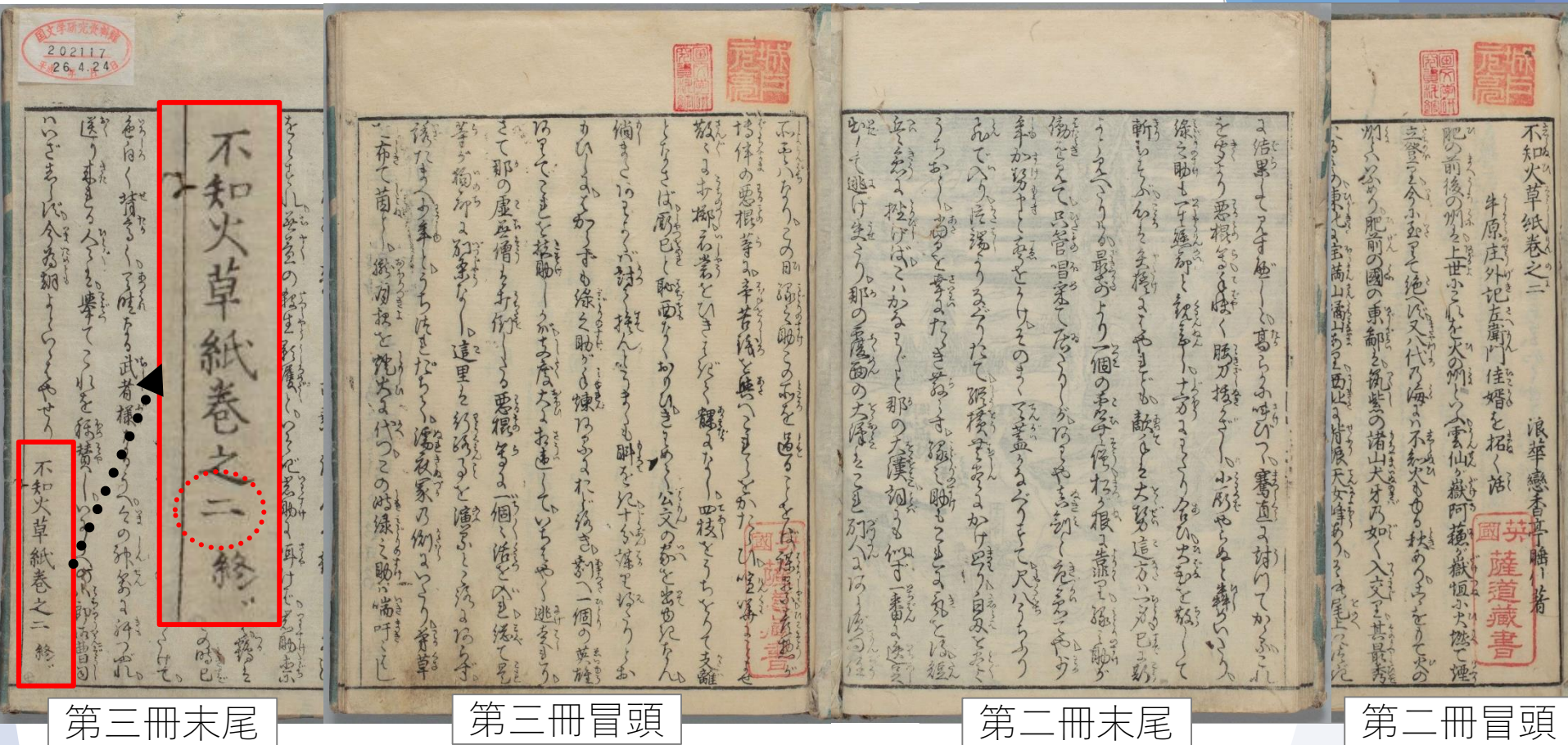


解説2（続き）

- 一冊の資料でも、このように外題・目録第・内題・尾題が全て異なっている場合がある。
- 書名のありそうな場所は一通り確認し、それぞれの書名を書誌情報として記載箇所も含めて採録すること。

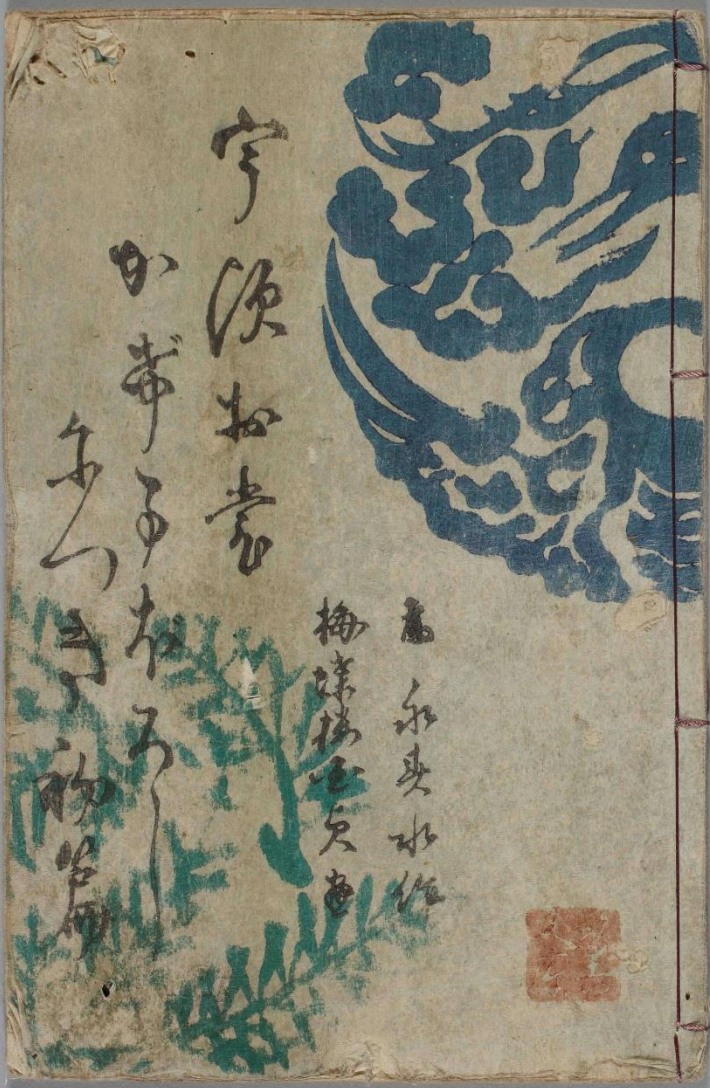
※蔵書印は「英国／薩道藏書」（巻五目録下）「城戸元亮」（巻五目録上）「城戸」「元亮」（巻之五大尾下）

◆ 第二冊末尾・第三冊冒頭・末尾



回答3. 不知火草紙卷之二は第二冊と第三冊の2冊にわたっている。

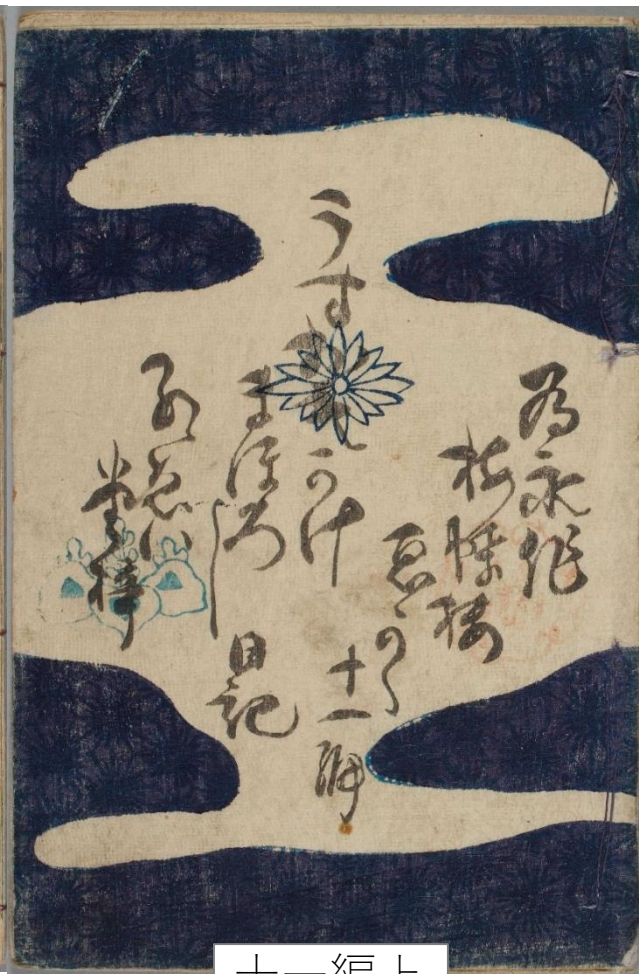
- 解説3.
- 第二冊の末尾と第三冊冒頭の文章が繋がっている。
 - 第三冊末尾に「不知火草紙卷之二終」とある。
 - 現代の本は一冊毎に巻次が変わることが殆どだが、和古書ではそうではない場合もあるので注意すること。また、この資料のように分冊された後半部分は表紙の後にいきなり本文が始まっている場合もある。



◆ 表紙（一部抜粋）



十四編下



十一編上



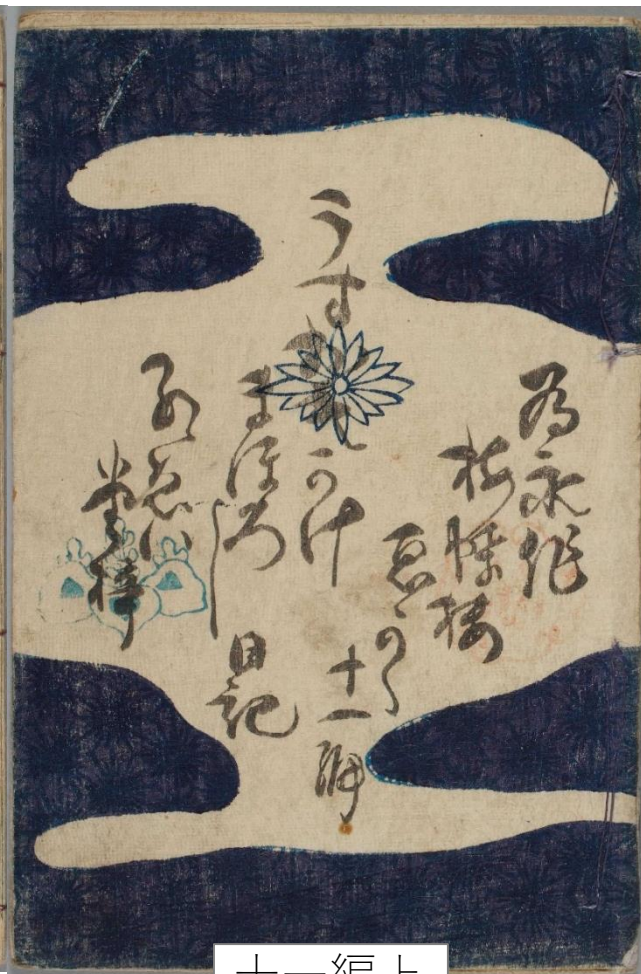
八編上

例題4.ここから取ることができる外題は？

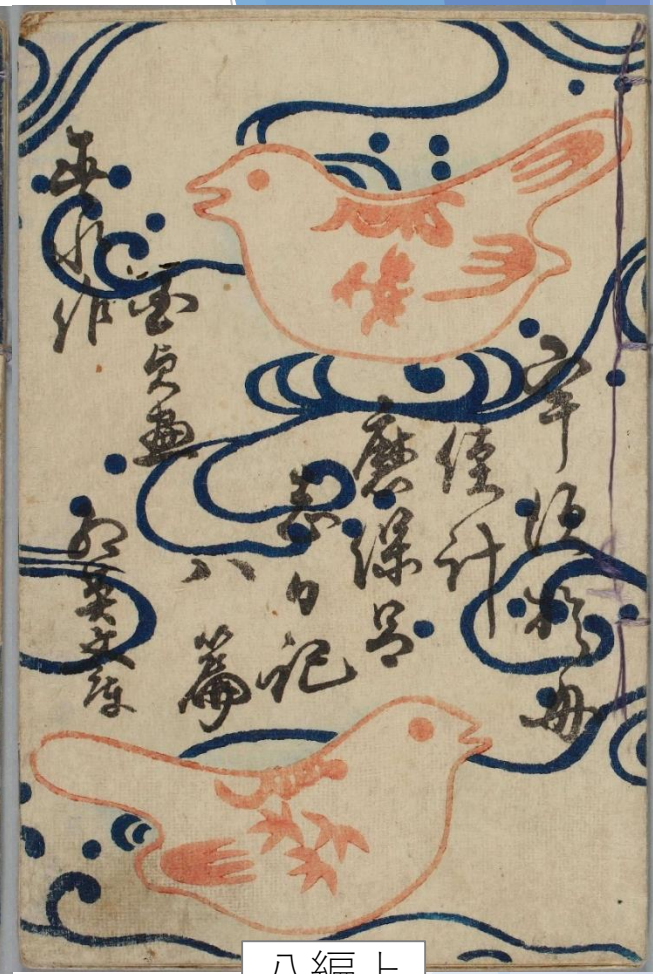
◆ 表紙（一部抜粋）



十四編下



十一編上



八編上

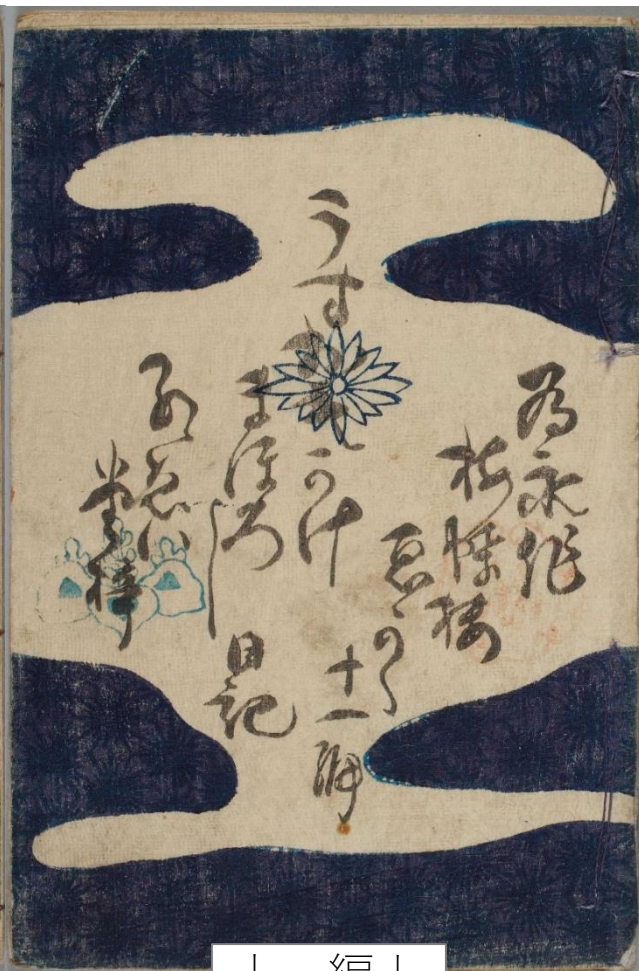
回答4. 以下の1つのみ

- 『うすおもかけまほろし日記（うすおもかげまぼろしにっき）』

◆ 表紙（一部抜粋）



十四編下



十一編上



八編上

解説4.

- これらの外題は一見「宇須お母佳計磨保呂志日記（八編上）」「うすおも可けまほろし日記（十一編上）」「う寸お毛か遣満本呂し日記（十四編下）」と異なった表記に見える。しかし、実際には変体仮名を使ったものであり目録を取るときには現行のかなで取るため、いずれも「うすおもかけまほろし日記」と同じ表記になる。

北越雪譜

初編

上之卷

p 6
249
1
国文学研究資料館

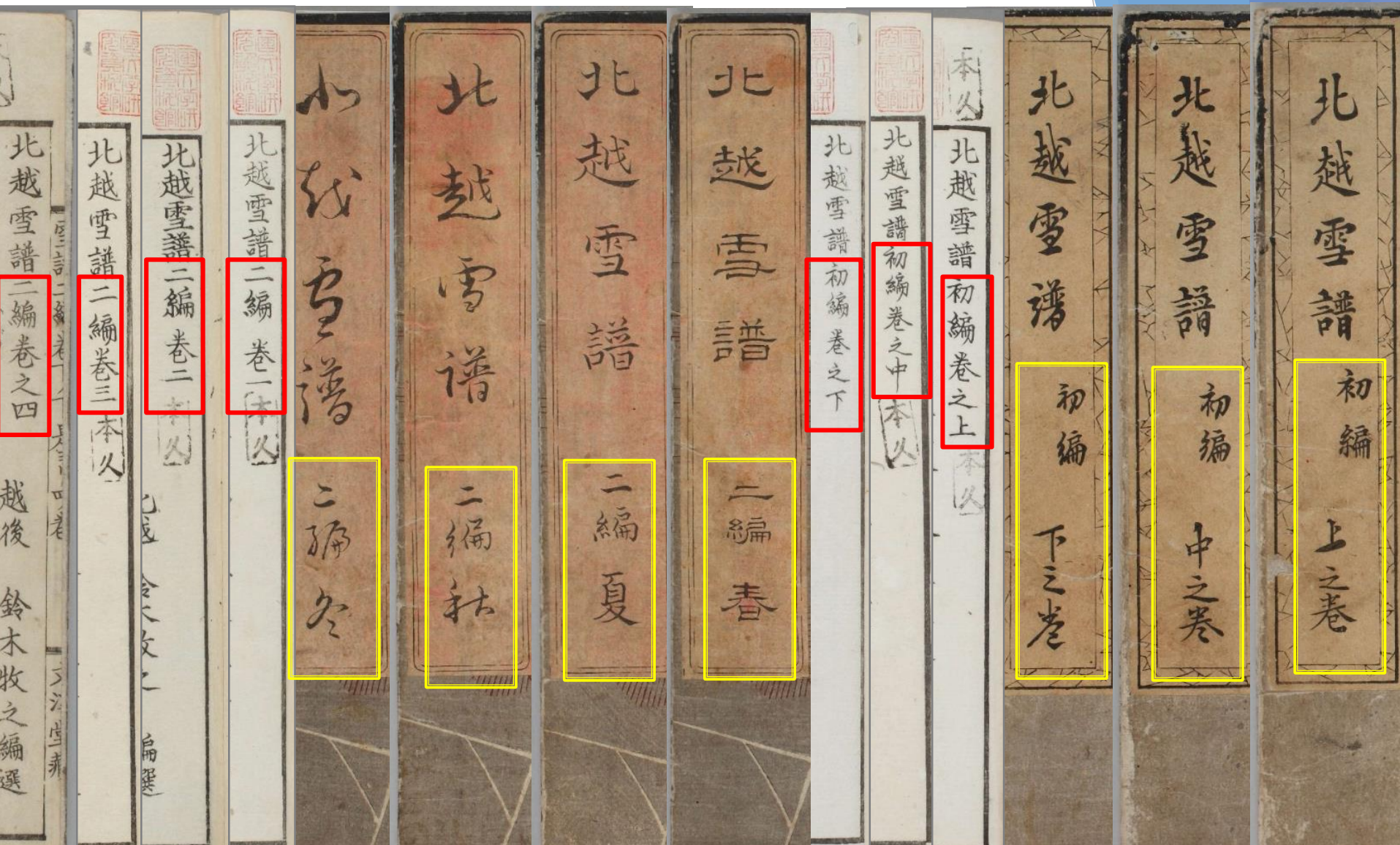


◆ 各冊題簽・本文冒頭



例題5.この場合の巻数はどう取る？

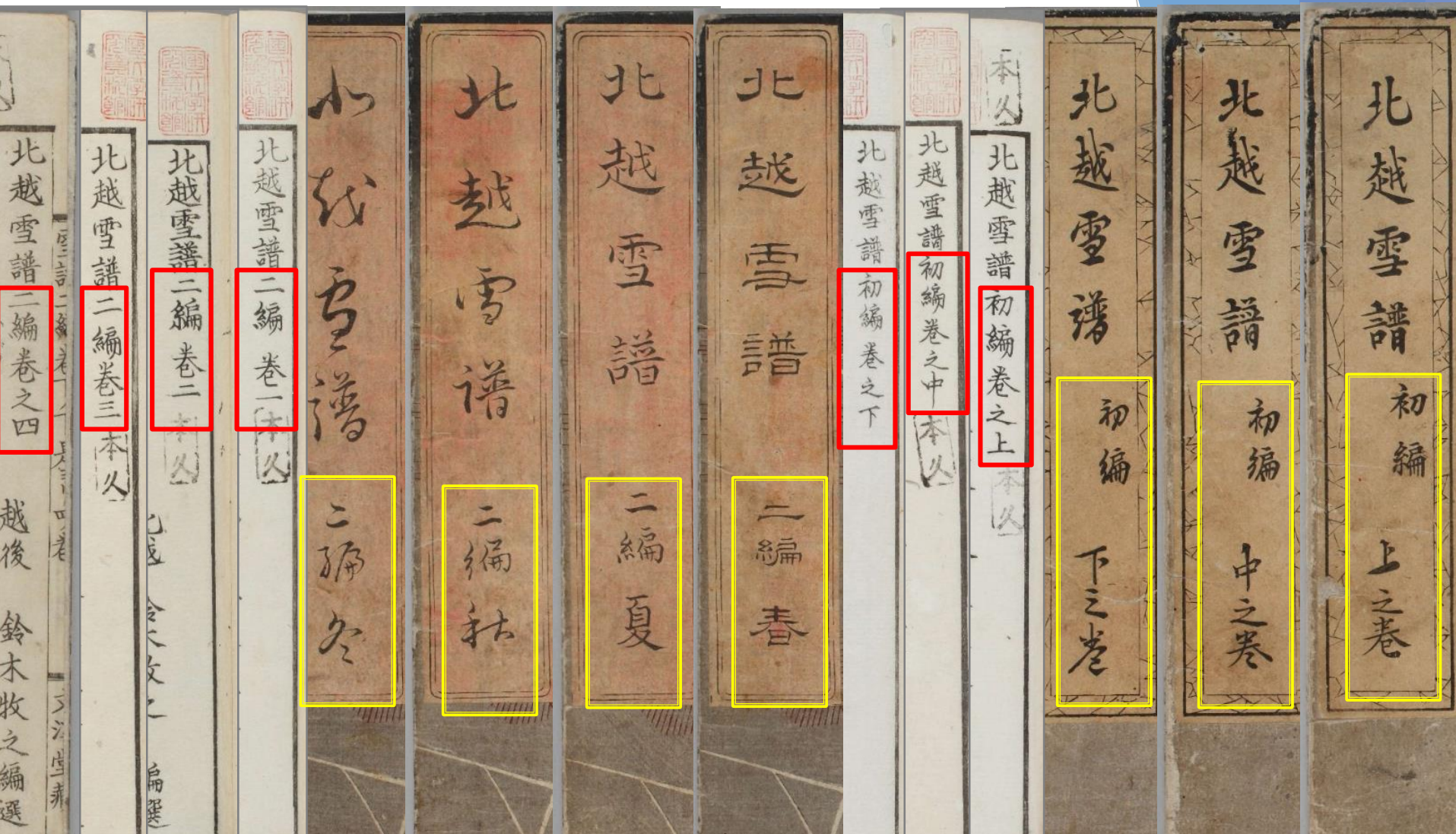
◆ 各冊題簽・本文冒頭



回答5.

- 卷数：『初編卷之上中下・二編卷一～四』
- 注記：『〈般〉絵入本，一題簽は初編上中下之卷・二編春夏秋冬の記載』

◆ 各冊題簽・本文冒頭



解説5.

- 情報源としては表紙よりも本文冒頭が優先なので、巻数は本文冒頭の表記を基に取る。
- 題簽に書かれた表記も必要な情報なので、一般注記に記載する。

◆ 第四冊見返し・序文冒頭

北越雪譜

二編

四卷

越後 鈴木牧之編撰

天保辛丑新刻

書肆 文溪堂

江戸 京山人百樹増修

京水百鶴畫圖

發販

北越雪譜二編叙

小越雪譜六卷越後塩澤鈴木牧之先人雪窗因燈寒燈隱几隨筆其事出實跡徒非構空架虛之談然猶固不必期於梓行矣

嚮者郵筒懇乞校正者之步刈英蔓據擲著英先輯之卷以為初編告約使書肆文溪堂刊布之於後越言之奇千彙萬狀供即遊資錦室婦妾市客妻婢皆詳知越雪解士通人或云格致之助爰以雪譜之名頗踴躍於是乎書肆類乞嗣撰蓋以知予殊稿在也余謂不踏越地不可說越事仍丁酉之夏携兒京水越遊數

雪譜二編

序一

例題6.ここにある書名とその種別を全部みつけてみよう

◆ 第四冊見返し・序文冒頭

北越雪譜 二編叙 本以
北越雪譜六卷越後塩澤鈴木牧之先人
雪窗因燈寒燈隱几隨筆其事出實跡
徒非構空架虛之談然猶固不必期於梓行矣
嚮者郵筒懇乞校正者之步刈蕪蔓據擲著
英先輯之卷以為初編告約使書肆父溪堂刊布
之於後越言之奇千彙萬狀供目遊資錦室
婦妾市客妻婢皆詳知越雪解士通人或云
格致之助爰以雪譜之名頗踴躍於是乎書
梓類乞嗣撰蓋以知予殊稿在也余謂不踏越地
不可說越事仍丁酉之夏携兒京水越遊叙

雪譜 編

序一

北越雪譜 二編 四卷
越後 鈴木牧之編撰 天保辛丑新刻
京山人百樹增修 書肆 文溪堂
江戶 京水百鶴畫圖 發販

- 回答6. 「北越雪譜」が3種、「雪譜」が1種
- ・ 記載書名：『北越雪譜（ほくえつせつぶ）, 見・序首・序中』
 - ・ 記載書名：『雪譜（せつぶ）, 柱』

◆ 第四冊見返し・序文冒頭

北越雪譜 二編叙 本以
小越雪譜六卷越後塩澤鈴木牧之先人
雪窗因燈寒燈隱几隨筆其事出實跡
徒非構空架虛之談然猶固不必期於梓行矣
嚮者郵筒懇乞校正者之步刈英蔓據擷著
英先輯之卷以為初編告約使書肆父溪堂刊布
之於後越言之奇千彙萬狀供目遊資錦室
婦妾市客妻婢皆詳知越雪解士通人或云
格致之助爰以雪譜之名頗踴躍於是乎書
梓類乞嗣撰蓋以知予殊稿在也余謂不踏越地
不可說越事仍丁酉之夏携兒京水越遊叙

雪譜 編

序一

北越雪譜 二編 四卷
越後 鈴木牧之編撰 天保辛丑新刻
京山人百樹增修 書肆 文溪堂
江戶 京水百鶴畫圖 發販

解説6.
• 序文の中に書名が書かれていることがある。見つけられたら「序中題」としてとる。

●現代の図書書誌と特に違う点

■どの場所に、どのように記載されているのかが重要

- 一冊の資料でも、記載されている書名が場所によって異なる場合がある。

※変体仮名は字母が違っていても「かなでとる」と目録上は同じ表記になる。

- 多冊ものでは、同じ場所であっても記載されている書名が巻・冊によって異なる場合がある。

→記載された場所と表記が揃って一つの情報になる。

→同じ書名が使われていればそのことが一つの情報になる。

→書名以外の情報でも、同じ事を違う表記にしていたらそれは情報。

■資料が完成した後の情報も大切

- 誰が持っていたのか、どんな風に今まで伝わってきたのかも情報になる

→蔵書印や過去の所有者による書き込みも出来れば注記で取る。

→経年で傷んだり、装丁が変更されたりしたら、それも情報。

●おまけ（ささやかなリンク集）

資料の形態・部位や用語を調べる



- ▶ 和書のさまざま—国文学研究資料館通常展示
図録

<http://id.nii.ac.jp/1283/00003721/>

くずし字を探す



- ▶ 『史的文字データベース連携検索システム』
(奈良文化財研究所)

<https://mojiportal.nabunken.go.jp/ja/>

蔵書印を探す



- ▶ 『蔵書印ツールコレクション』（人文情報学研究所）

<https://seal.dhii.jp/>

「国文学研究資料館における
和古書目録の作成」は
以上です。

